

アフターサービス

●保証書(別紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のかとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書や専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>

株式会社ユピテル

〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS2325

ver 1.4

オービス警報搭載
前後2カメラドライブレコーダー

Y-240Rd

取扱説明書 **12V車専用**

画面自動OFF機能 搭載

動画記録モード時に無操作で画面を自動的に OFF する時間を選択できます。(初期値：10 秒後)



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフトは、付属の microSD カード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)



事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源 OFF してから microSD カードを抜いて保管してください。



電源 ON の状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。
microSD カード破損の原因となります。必ず電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。



SD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
SD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
もしも事故が起きたら…	12
SDカードをフォーマットする	14

基礎知識

各部の名称と働き	16
1. 付属品	18
2. 別売品	19
3. 付属品・別売品の購入について	19

SDカードの取り外し/装着	20
1. SDカードを本体から取り外す	20
2. SDカードを本体へ装着する	20

動画記録モード	21
---------------	----

録画について	23
1. 常時録画	24
2. イベント記録 (Gセンサー記録、ワンタッチ記録)	24
3. 上書き設定について	26

駐車記録について	28
1. タイムラプスモード	28
2. 動体検知モード	31
3. 履歴表示	33

GPS警報について	34
1. GPSターゲット	34
2. 左右方位認識ボイス	35
3. 警報キャンセル	35

メンテナンスについて	35
------------------	----

初期値について	36
---------------	----

すぐに使う

本機の取り付け	37
1. フロントカメラユニットを取り付ける	38
2. リアカメラユニットを取り付ける	40
3. リアカメラケーブルを接続する	42
4. 電源を接続する	43

別売品の取り付け	45
1. マルチバッテリー (OP-MB4000) の接続方法…	45
2. 電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01) の接続方法	48

電源ON～OFFまでの手順	52
1. 電源ON(録画を開始する)	52
2. 録画を停止する	53
3. 録画を再開する	53
4. ワンタッチ記録をする	54
5. 音声録音をON/OFFする	54
6. 画面表示を切り替える	55
7. 電源OFF(録画を停止する)	55

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法	58
1. 設定メニューを表示する	58
2. 録画を再開する	58

設定メニュー	59
1. 録画設定	60
2. 駐車記録設定	60
3. イベント感度設定	61
4. システム設定	62

SDカードフォーマット	63
1. SDカードをフォーマットする	63

再生する

再生モードの表示・再生方法	65
1. 再生モードを表示する	65
2. 本機で録画ファイルを再生する	65
3. 録画を再開する	66

再生モード	67
-------------	----

録画ファイルの削除	69
1. 録画ファイルを削除する	69

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する	70
1. 準備する	70
2. 専用ビューアソフトを起動する	70
3. 録画ファイルを再生する	70
4. 専用ビューアソフトを終了する	71

専用ビューアソフト	72
1. 専用ビューアソフトの画面について	72
2. 表示エリアの操作について	74

その他

録画ファイルの読み出しについて ...	75
---------------------	----

- | | |
|---|----|
| 1. 専用ビューアソフトを使用せずに
録画ファイルを再生する | 76 |
|---|----|

こんなときは	77
--------------	----

故障かな？と思ったら	78
------------------	----

仕 様	81
-----------	----

microSDカード対応一覧表	83
-----------------------	----

- | | |
|------------------------|----|
| 1. 録画時間の目安 | 83 |
| 2. イベント記録の最大記録件数 | 83 |
| 3. 動体検知の最大記録件数 | 84 |

索 引	85
-----------	----

アフターサービス	裏表紙
----------------	-----

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. お客様ご相談センター | 裏表紙 |
|---------------------|-----|

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

絵表示について

- !** 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⊘** してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠** 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉** 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- !** 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電のおそれがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

👉 P.87「アフターサービス」

- !** 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

- !** 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

- !** 本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

- ⊘** サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊘** 本機を次のような場所に保管しないでください。

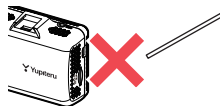
- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ⊘** 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ⊘** 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



- ⊘ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。

- ⊘ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

- ⊘ 本機を改造しないでください。

故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

- ⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ⊘ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

- ⊘ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

- ⊘ 濡れた手で操作しないでください。

感電の原因となります。



- ⊘ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

- ⚠ 本機は精密機械です。

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて (共通)

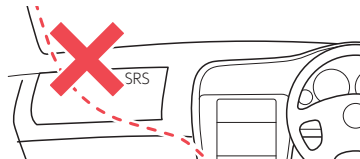
⚠ 警告

- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ❗ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。
取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

- ❗ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ❗ 取り付けは確実に行ってください。
また定期的に点検を行ってください。

本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

- ❗ 突起部分などにご注意ください。

取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをするおそれがあります。

- ❗ 接続部は確実に奥まで挿し込んでください。

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

- ❗ テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。

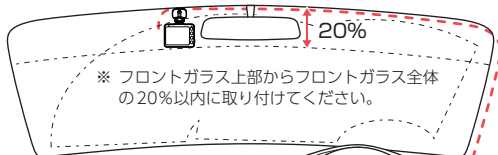
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●取り付けについて(フロントカメラユニット)

警告

- ❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

※フロントガラスの下の縁から15cm以内の取り付けが可能になりましたが、上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



●取り付けについて(リアカメラユニット)

警告

- ❗ リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアトレイなどに取り付けてください。

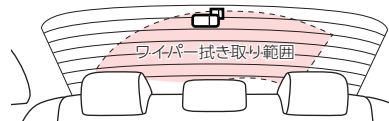
- ❗ 付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。

誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。

- ❗ 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

- ❗ リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



●電源コードについて

警告

- ❗ 電源コードは確実に挿し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナースアース車専用です。

- ❗ コードを引っ張ったり、傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。



⚠ 注意

- ❗ 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
故障や感電の原因となります。必ずコネクタ部を持って抜いてください。

**●SDカードについて****⚠ 警告**

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。

OFF



- ⚠ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について**⚠ 警告**

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。
このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❌ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。
- ❌ 運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

●本機のお手入れについて**⚠ 注意**

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数(フレームレート)が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損するおそれがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SD カードに関する注意

- ・ SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
- ・ SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自のシステムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
- ・ SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
- ・ SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンへの保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・ 付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず初回起動時に本機でフォーマットしてください。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
- ・ SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ラジオアンテナ付近に本体の取り付けおよびリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 液晶パネルに関する注意

- ・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
- ・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。
- ・本体温度が高温になると液晶パネル保護のため液晶パネルが自動的に画面OFFになりますが録画は継続して行われます。動作温度範囲まで温度が下がると自動的に画面ONします。

■ 収録データに関する注意

- ・収録されているオービスデータは、製品製造時のデータとなります。また、本製品に関するオービスデータの更新は予定してありません。
- ・制限速度は普通自動車に対する表示となります。
- ・本機の制限速度は、本機購入時に降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、スピードを出し過ぎず交通規則に従い走行してください。
- ・事故や天候、時間帯などで変化する制限速度には対応していません。状況に応じた制限速度で走行してください。

■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- ・電源OFF時やアイドリングストップ時などに、リアカメラの映像が黒画面になる場合がありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。

■ GPS測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ GPS警報に関する注意

- ・本機の警報はあらかじめ登録されたオービスなどのGPSターゲットのみ警報します。新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・本機に一般道/高速道を識別する機能はありません。そのため両方のGPSターゲットを警報します。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保証することができません。あらかじめご了承ください。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 電源直結コードに関する注意

- ・電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・電源直結コード内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ ドライブレコーダー搭載ステッカーに関する注意

- ・ステッカーを貼り付ける場所を決め、貼り付け面の汚れや、油分、ワックスをあらかじめ取り除いてください。凸凹面、ザラザラ面には接着できない場合があります。
- ・接着後、定着に約1日かかりますのでその間、洗車などは控えてください。
- ・保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けないでください。
- ・ステッカー素材は、屋外での使用を想定した素材を使用しておりますが、使用時間や条件により退色やヒビ割れ等の劣化が生じる場合があります。また、飛び石、風圧、事故やその他の不可抗力ではがれる場合もあります。
- ・再塗装や塗装面の傷んでいる場所に貼ると、ステッカーを剥がす際に、塗装がはがれたり、傷める場合があります。
- ・長期間の使用や貼り付け面の材質により、ステッカー貼り付け面は退色具合の異なりで跡が残る場合があります。

MEMO

[illegible]

もしも事故が起きたら…



事故発生



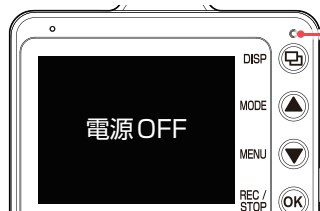
記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

付属品の電源コード接続時

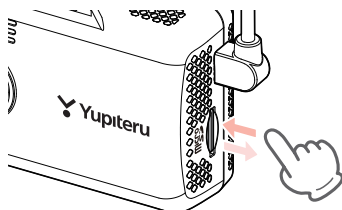
1 車両を停止(ACC OFF)する



電源ランプ

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

<保管場所について>

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



静電気・ノイズ



水・湿気



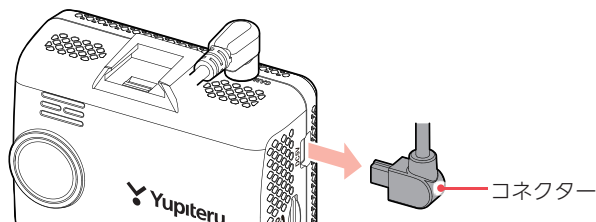
衝撃・曲げ・折り



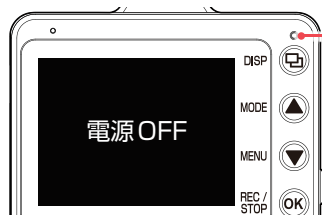
腐食性ガス

別売品のマルチバッテリーまたは 電圧監視機能付 電源ユニット接続時

1 本体のDCジャックから電源コードを取り出す



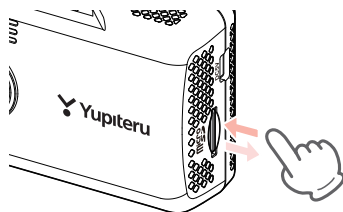
コネクター



電源ランプ

電源OFF後、電源ランプが3秒以上
消灯したことを確認してください。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意
ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意
してください。SDカードは小さいため、
車内で落とすとシートの隙間などに入り
込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

保管場所については P.12 を参照してください。



バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

いつフォーマット
するの？



- ・付属品以外のSDカードを使用するとき。(初回のみ)
- ・録画画質(解像度)を変更するとき。(P.60)
- ・「SDカードエラー」を表示しているとき。(P.77)

※フォーマットを行うと、録画ファイルが全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※エラーメッセージ(P.77)が表示されている場合は、いずれかのボタンを押してからフォーマットを行ってください。

※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

「ボタン」を使うフォーマット方法

1 車両を始動(ACC ON)する

録画を開始します。

- ・電源ランプ(赤)が点灯
- ・記録マーク **REC** (赤)を表示

記録マーク



※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に「SDカードエラー」と表示し、フォーマット画面を表示します。



2 ボタンを3秒以上長押しする

フォーマット画面を表示します。



3 [実行]を選択し、**OK**ボタンを押す

フォーマットが完了後、自動で再起動します。



『録画を停止
します』

録画を停止します。
しばらくお待ちください。

『SDカードを
フォーマット
します』

SDカードをフォーマット中です。
しばらくお待ちください。

『SDカードの
フォーマットが
完了しました』

SDカードのフォーマットが完了
しました。
再起動します。

『再起動します』

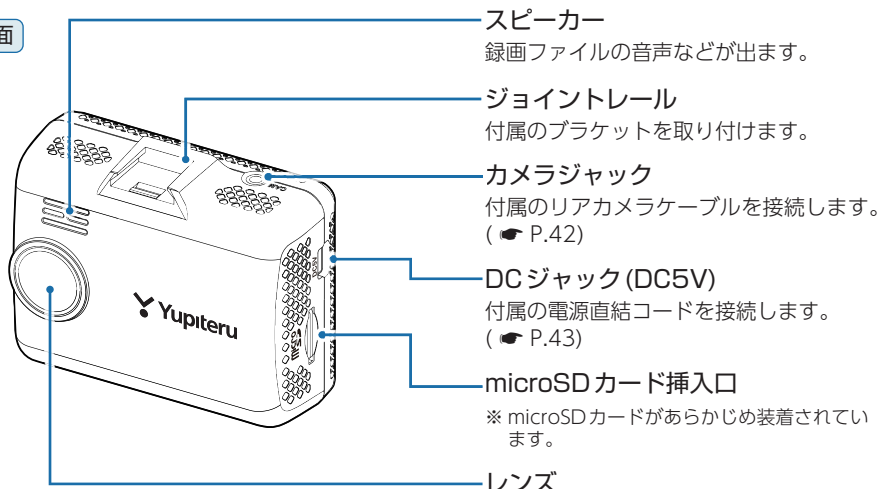


設定メニューからフォーマットする場合は、P.63を参照ください。

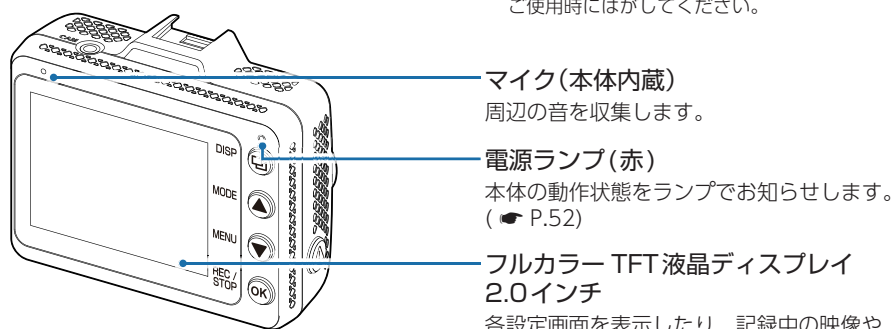
各部の名称と働き

■ 本体(フロントカメラユニット)

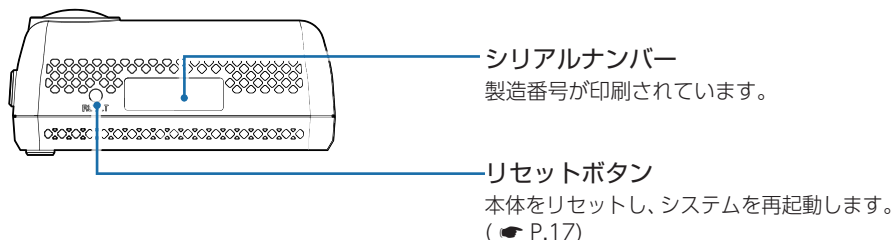
正面



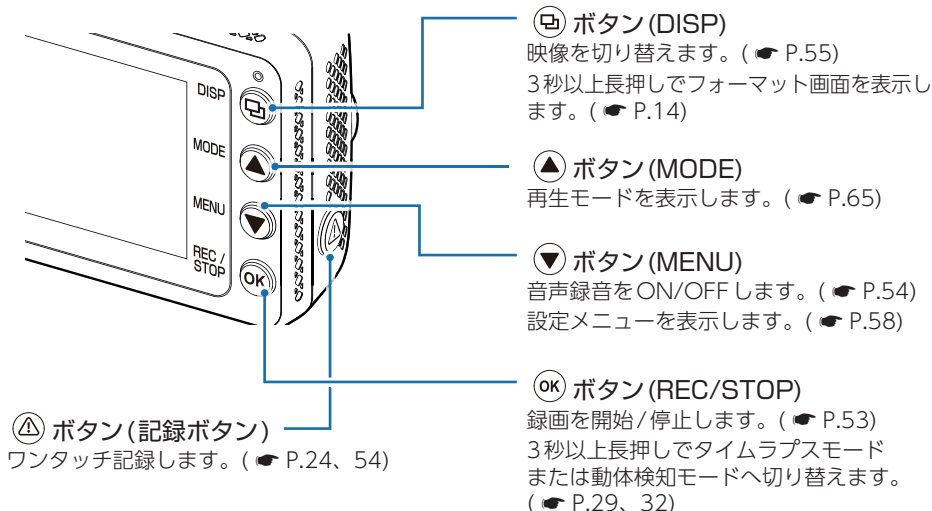
背面



下面



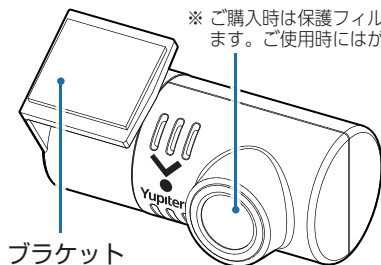
操作ボタン



■ リアカメラユニット

レンズ

※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

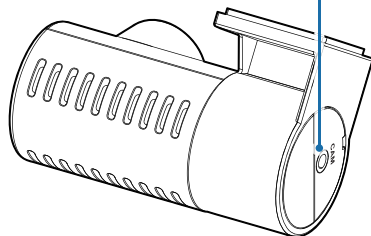


ブラケット

あらかじめ装着されています。
※ 両面テープが貼り付けてあります。

カメラジャック

付属のリアカメラケーブルを接続します。(☞ P.42)



■ リセットボタンについて

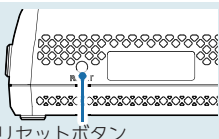
画面が固まって
動かない

ボタンを押しても
反応しない

こんなときは



リセットボタンを
押して再起動して
ください。



リセットボタン

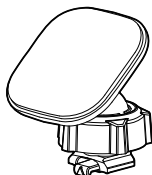
動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、フロントカメラユニット下面のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。

1. 付属品

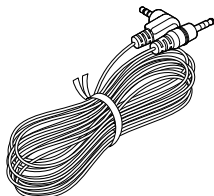
ご使用前に付属品をお確かめください。

■ フロントカメラ用ブラケット …… 1

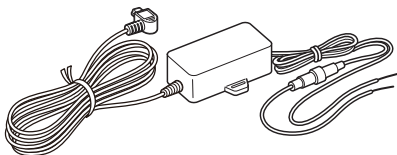


※ ブラケットには両面テープが貼り付けてあります。

■ リアカメラケーブル(約9m) (👉 P.42) …… 1



■ 5V コンバーター付電源直結コード (約4m)(12V車専用) (👉 P.43) …… 1



■ ドライブレコーダー搭載 ステッカー …… 1

※ 保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けないでください。

■ microSD カード(32GB) …… 1 (本体にあらかじめ装着されています。)

■ 保証書 …… 1

- ・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に純正品のSDカードをご注文ください。

2. 別売品

■ マルチバッテリー※¹

OP-MB4000 (12V車専用)

車両を停止(ACC OFF)すると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。約3時間の走行で満充電になります。(● P.45)

本体…………… 1
入力コード…………… 1
出力コード…………… 1
面ファスナー…………… 1

■ ACアダプター OP-E368

ご家庭で使うことができます。

■ 電圧監視機能付 電源ユニット※¹※²

OP-VMU01 (12V/24V車対応)

車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(● P.48)

本体…………… 1
入力コード…………… 1
両面テープ…………… 1

■ 専用 microSD カード

OP-SD32M (32GB)

OP-SD64M (64GB)

※¹：マルチバッテリー (OP-MB4000) と電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01) は組み合わせて使用できません。

※²：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態やお車の使用状況などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX (機種名) 用 ○○ (必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSD カード」を「SD カード」と表記しています。

※本機と市販品の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、16GB 以上、128GB 以下の microSDHC/microSDXC カードに対応しています。
(SD スピードクラス Class10 以上)

⚠ 注意

- ・電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- ・SD カードは一方方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外の SD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

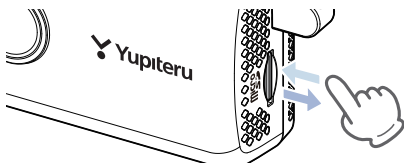
1. SD カードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めにフロントカメラユニットから電源コードを取り外してください。(P.13)

1-1 車両を停止 (ACC OFF) する

電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

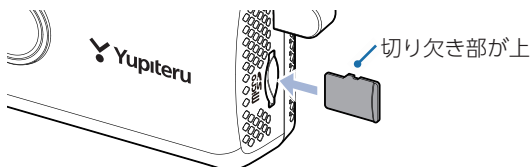
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SD カードは小さいため、車室内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SD カードを本体へ装着する

2-1 車両を停止 (ACC OFF) する

電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SD カードを挿入する



SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※SD カードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

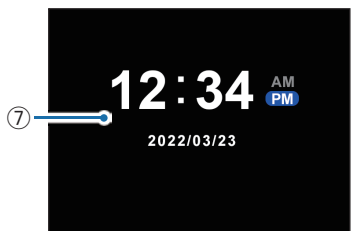
動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



<通常表示>



<通常表示>



<時計表示>



<GPS 警報表示> (P.34)

No.	表示名	説明
①	記録マーク	録画動作を表示します。 常時録画中：●REC (赤)、停止中：■STOP (灰)、停止中：■STOP (黄)*1、 Gセンサー記録中：■REC (赤)、ワンタッチ記録中：■MREC (赤)、 駐車記録中(タイムラプス/動体検知)：■REC (赤)、駐車記録中(イベント記録)：■REC (赤)
②	GPSアイコン	GPSの状態をアイコンで表示します。📶：測位、🚫：非測位
③	音声録音アイコン	音声録音の状態を表示します。🎤：ON、🚫：OFF
④	リアカメラ接続アイコン	リアカメラの接続状態をアイコンで表示します。📷：接続、🚫：未接続
⑤	フルフォルダアイコン	上書き禁止で各フォルダ容量が上限に達するとアイコンを表示します。 常時録画：N Full、駐車記録：P Full、Gセンサー記録：G Full、ワンタッチ記録：M Full
⑥	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。
⑦	時計画面	現在の日付と時刻を表示します。 ※ 表示には画面自動OFFの設定を[時計画面]にする必要があります。(P.62)
⑧	制限速度*2	オービス設置路線の制限速度を表示します。
⑨	ターゲット距離	ターゲットまでの距離を10m単位で表示します。 ※ 距離が100m未満になると「接近」になります。

※1：上書き禁止+常時録画フォルダ上限+イベント記録可能時に表示します。

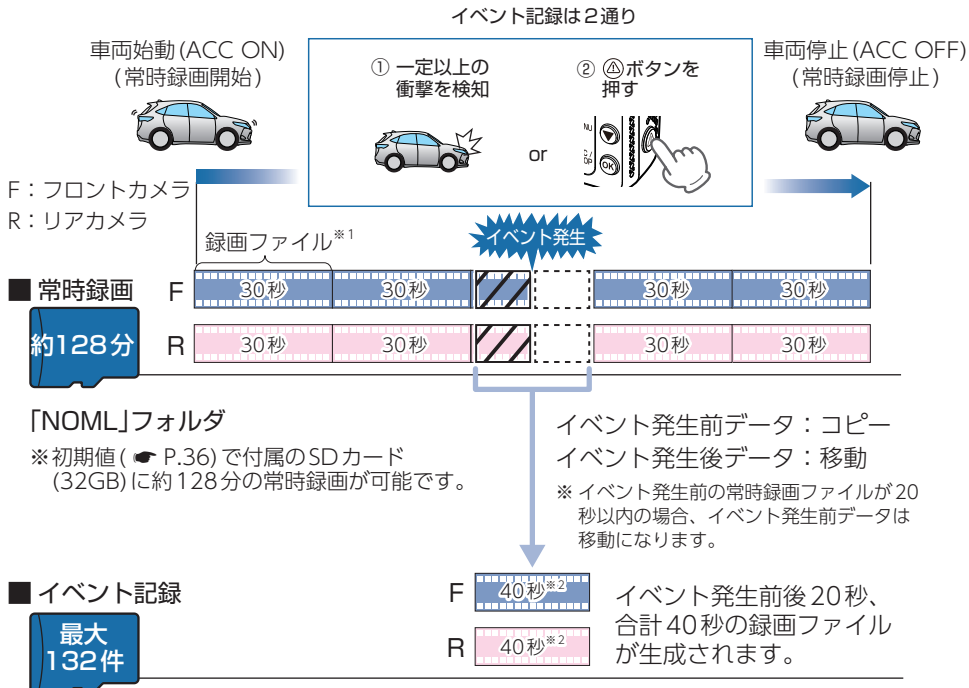
※2：事故や天候、時間帯などで変化する制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機 能	
⏮ ボタン	短押し	映像を切り替えます。(👉 P.55)
	長押し	3秒以上長押しでフォーマット画面を表示します。(👉 P.14)
⏮ ボタン	短押し	再生モードへ切り替えます。(👉 P.65)
⏮ ボタン	短押し	録画中に押すと音声録音をON/OFFします。(👉 P.54) 録画停止中に押すと、設定メニューへ切り替えます。(👉 P.58)
OK ボタン	短押し	録画を開始/停止します。
	長押し	3秒以上長押しでタイムラプスモードまたは動体検知モードに切り替えます。(👉 P.29、32)
⏮ ボタン	短押し	録画中に押すと、ワンタッチ記録を行います。(👉 P.54)

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



「EVGS」フォルダ …… Gセンサー記録

「EVSW」フォルダ …… ワンタッチ記録

※初期値 (P.36) で付属のSDカード (32GB) に、Gセンサー記録が76件/ワンタッチ記録が56件の合計132件のイベント記録が可能です。

※1：タイムラプスモード中は約3分20秒の映像が1ファイルになります。(P.28)

※2：イベント記録終了後、続けてイベント記録が発生した場合、イベント発生前データは1つ前のイベント記録からコピーします。

1. 常時録画

車両始動 (ACC ON) から車両停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。常時録画開始時に『録画を開始します』とお知らせし、画面左上に●REC (赤) を表示します。※音量 [OFF] にしている場合、音声 / 音によるお知らせはしません。

・録画ファイル構成

1 ファイルあたり約 30 秒で生成します。

・録画可能時間

初期値 (● P.36) で、付属のSDカード (32GB) に約 128 分の常時録画が可能です。SDカードの容量、録画画質によって録画可能時間は異なります。(● P.83「録画時間の目安」)

・上書き設定

初期値では [上書き設定] が [すべて上書き] のため、128 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.26「上書き設定について」)

2. イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録)

イベント記録には、G センサー記録、ワンタッチ記録があります。

G センサー記録とワンタッチ記録は、イベント記録開始時に『キンコーン』と音が鳴ります。画面左上には、G センサー記録は●REC (赤)、ワンタッチ記録は■REC (赤) を表示します。

※音量 [OFF] にしている場合、音によるお知らせはしません。

※イベント記録には優先順位があるため、G センサー記録中にワンタッチ記録をすることができません。(G センサー記録 < ワンタッチ記録)

・録画ファイル構成

1 ファイルあたり約 40 秒で生成します。

・最大記録件数

初期値 (● P.36) で付属のSDカード (32GB) に、G センサー記録が 76 件、ワンタッチ記録が 56 件の合計 132 件の録画が可能です。SDカードの容量、録画画質によってイベント記録件数は異なります。(● P.83「イベント記録の最大記録件数」)

・上書き設定

初期値では [上書き設定] が [すべて上書き] のため、各イベント記録の最大記録件数以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.26「上書き設定について」)

■ G センサー記録

G センサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「EVGS」フォルダ内に生成します。

※初期値では [G センサー記録 : ON] となります。設定で [OFF] にすることもできます。(● P.61)

・Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て[1.0G]となります。(P.61)

一定以上の衝撃を検知

『キンコーン』



電源ランプ(赤)
遅点滅

事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中にⒶボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダ内に生成します。

Ⓐボタンを
押す

『キンコーン』



電源ランプ(赤)
遅点滅

⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く行ってください。

3. 上書き設定について

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(● P.60「上書き」)

上書き設定		上限に達した場合の動作	
		常時録画/タイムラプス/動体検知	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時・駐車上書き	常時録画/駐車記録(NOML/PARK)フォルダのファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
すべて上書き(初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

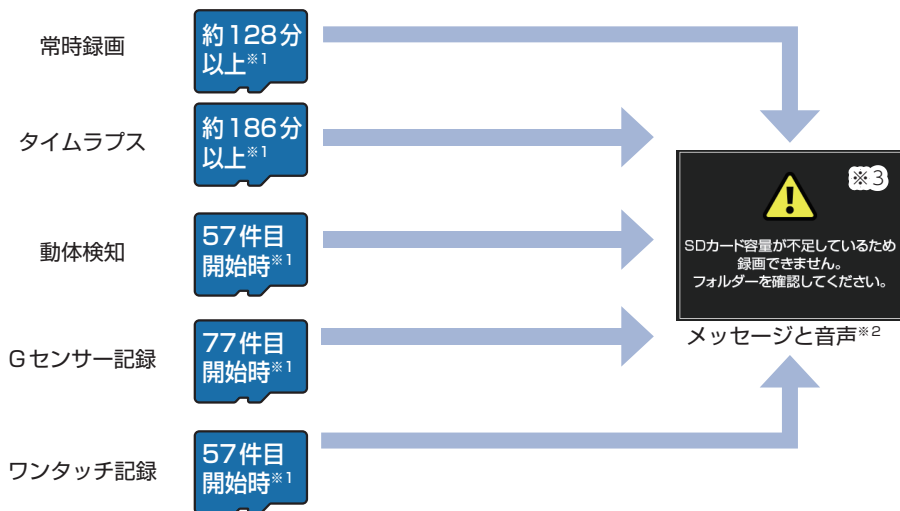
※上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

■ 上書き禁止

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、その記録方法での記録を停止します。

例①：イベント記録(EVGS、EVSW)フォルダの上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画/駐車記録(NOML/PARK)フォルダが上限に達していなければ、常時録画/タイムラプス/動体検知を続けます。

例②：常時録画(NOML)フォルダがSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止しますが、イベント記録が上限に達していなければイベント記録を行います。



※タイムラプス/動体検知モード中に「PARK」フォルダが上限に達した場合、メッセージと音声の後、常時録画の停止(■STOP(灰))状態になります。再度、常時録画を行う場合は、Ⓢボタンを押してください。

■ 常時・駐車上書き

常時録画/駐車記録(NOML/PARK)フォルダが上限に達すると、そのフォルダ内のファイルを上書きし、録画を続けます。

イベント記録は、フォルダ(EVGS、EVSW)の上限に達した時点で、その記録方法での記録を停止します。



■ すべて上書き(初期値)

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、各記録方法の古いファイルを上書きし、記録を続けます。

メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

※1：時間/件数はSDカードの容量、録画画質により異なります。

※2：音量[OFF]にしている場合、音声は鳴りません。(☛ P.62)

※3：メッセージ表示中はワンタッチ記録はできません。

駐車記録について

本機は駐車記録(車両停止(ACC OFF)状態で別売品により駐車中に記録を行うこと)用に「タイムラプスモード」「動体検知モード」の2つのモードがあります。必要に応じてご使用ください。モード変更せずに駐車記録を行う場合は P.57を参照ください。

※駐車記録には別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)、または電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)が必要です。

※タイムラプスモード/動体検知モード中はワンタッチ記録を行うことができません。また、GPSの位置情報は記録しないため再生時に地図などは表示されません。

1. タイムラプスモード

駐車中の長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し記録を行うタイムラプスモードがあります。

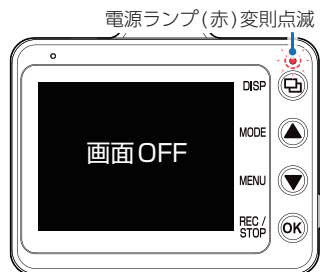
※タイムラプスモード中は、フレームレートが「1コマ/秒」に固定されます。そのため約3分20秒の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。また、タイムラプスモード中のイベント記録は通常のフレームレート[29.1コマ/秒]で記録されるため、再生しても通常の再生速度になります。

■ タイムラプスモード中の動作



『タイムラプスモードを開始します』とお知らせし録画を開始します。

10秒経過※1



自動で画面OFFし録画を継続します。

A : いすれかのボタンを押す

B : 衝撃を検知



画面ONします。



Gセンサー記録を開始します。

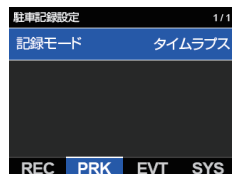
※1：画面自動OFFの設定に関わらず、10秒後に画面OFFします。

■ A：タイムラプスモードを開始する

あらかじめ駐車記録設定の記録モードを[タイムラプス]にする必要があります。設定メニューの[駐車記録設定]⇒[記録モード]で確認してください。

※設定されている項目が右に表示されます。

※初期値は[タイムラプス]になります。



A-1 車両を停止 (ACC OFF) する



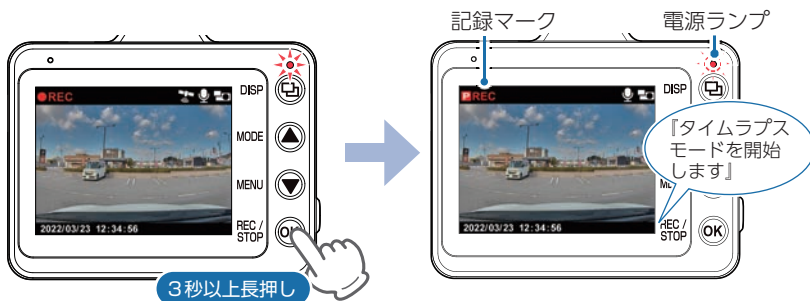
・駐車記録とは…

車両停止 (ACC OFF) 状態で別売品により駐車中に記録を行うこと。

別売品 (OP-MB4000/OP-VMU01) から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。

※別売品 (OP-MB4000/OP-VMU01) の設定によっては電源 OFF します。

A-2 ○OK ボタンを3秒以上長押しする



タイムラプスモードで録画を開始します。

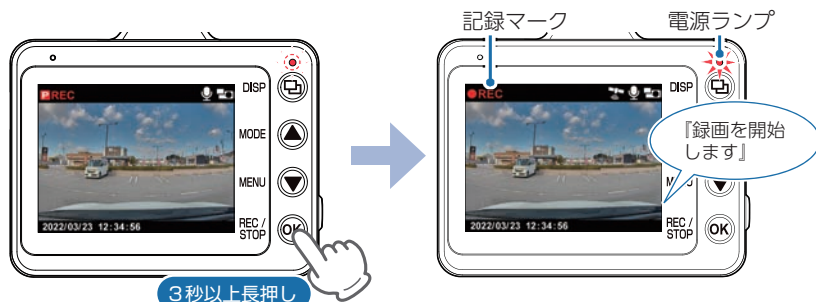
タイムラプスモード中は電源ランプ (赤) が変則点滅、記録マーク **PREC** (赤) を表示します。

※タイムラプスモード中はGPSデータを記録しないため、GPSアイコンは表示されません。

■ B：タイムラプスモードを終了する

※画面OFFの場合、いずれかのボタンを押して画面ONしてから行ってください。

B-1 タイムラプスモード中に、(OK) ボタンを3秒以上長押しする



タイムラプスモードを終了し、自動で録画を開始します。

電源ランプ(赤)が点灯、記録マーク●REC(赤)を表示します。

※タイムラプスモード中にイベント記録が発生した場合、タイムラプスモード終了時に履歴が表示されます。(P.33)

※本体の電源OFFでもタイムラプスモードは終了します。

タイムラプスモード中の映像について…

タイムラプスモード中の映像は、常時録画は「PARK」フォルダ、Gセンサー記録は「EVGS」フォルダに記録されます。

本体で再生する場合は、フォルダ選択画面の「駐車」/「Gセンサー」から選択してください。



2. 動体検知モード

駐車中の長時間録画に対応するため、フロント/リアカメラの映像の変化から動体を検知し動きがあった場合に記録を行う動体検知モードがあります。

※動体検知で記録した録画ファイルの構成は、イベント記録と同様になります。(☛ P.24)

※映像の変化から動体を検知するため、検出範囲内であっても周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。

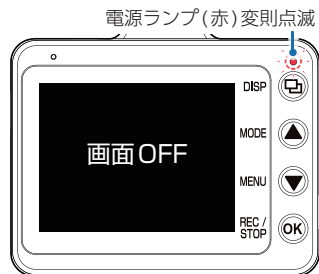
※動体検知の感度は変更できます。(☛ P.61「イベント感度設定」)

■ 動体検知モード中の動作



『動体検知モードを開始します』とお知らせし動体検知モードを開始します。

10秒経過※1



自動で画面OFFし、待機状態になります。(動体検知待機)

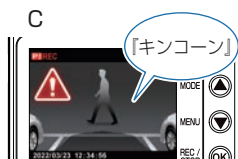
- A：いずれかのボタンを押す
- B：衝撃を検知
- C：動体を検知



画面ONします。



Gセンサー記録を開始します。



録画を開始します。

※1：画面自動OFFの設定に関わらず、10秒後に画面OFFします。

■ A：動体検知モードを開始する

あらかじめ駐車記録設定の記録モードを[動体検知]にする必要があります。設定メニューの[駐車記録設定]⇒[記録モード]で確認してください。

※設定されている項目が右に表示されます。

※初期値[タイムラプス]



A-1 車両を停止(ACC OFF)する



・駐車記録とは…

車両停止(ACC OFF)状態で別売品により駐車中に記録を行うこと。

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)の設定によっては電源OFFします。

A-2 ○OK ボタンを3秒以上長押しする



3秒以上長押し



動体検知モードを開始します。

動体検知モード中は電源ランプ(赤)が変則点滅、記録マーク**REC**(赤)を表示します。

※動体検知モード中はGPSデータを記録しないため、GPSアイコンは表示されません。

動体を検知すると…

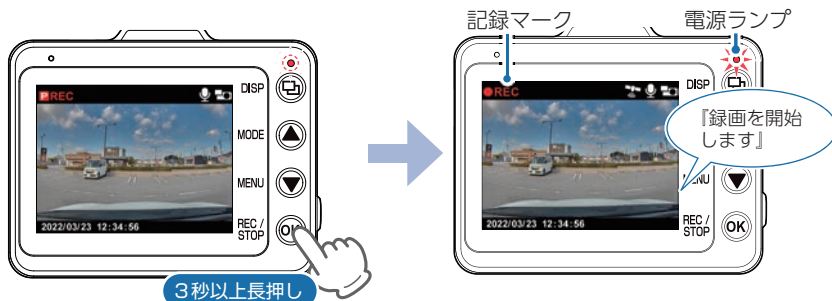
『キンコーン』と右記画面を数秒表示し、電源ランプ(赤)遅点滅、記録マーク**REC**(赤)を表示します。



■ B：動体検知モードを終了する

※画面OFFの場合、いずれかのボタンを押して画面ONしてから行ってください。

B-1 動体検知モード中に、**OK** ボタンを3秒以上長押しする



動体検知モードを終了し、自動で録画を開始します。

電源ランプ(赤)が点灯、記録マーク●**REC**(赤)を表示します。

※動体検知モード中にイベント記録が発生した場合、動体検知モード終了時に履歴が表示されます。(▶ P.33)

※本体の電源OFFでも動体検知モードは終了します。

動体検知モード中の映像について…

動体検知モード中の映像は、動体検知で記録した映像は「PARK」フォルダ、Gセンサー記録は「EVGS」フォルダに記録されます。本体で再生する場合は、フォルダ選択画面の「駐車」/「Gセンサー」から選択してください。



3. 履歴表示

タイムラプスモード/動体検知モード終了後にイベント記録があった場合、『録画を開始します』の後に『タイムラプスモード/動体検知モード中にイベント記録が発生しました』とお知らせし、開始時間/終了時間/衝撃イベント(回数)/動体検知イベント(回数)を数秒表示します。

タイムラプスモード履歴	
開始時間	2022-03-23 09:35:43
終了時間	2022-03-23 12:27:30
衝撃イベント	3
駐車中、イベント録画を部	

動体検知モード履歴	
開始時間	2022-03-23 09:35:43
終了時間	2022-03-23 12:27:30
衝撃イベント	3
動体検知イベント	2
駐車中、イベントが発生しました。イベント録画を確認してください。	

※タイムラプスモード/動体検知モード移行後、30秒間はドアの開閉による衝撃などが発生するため、その間のイベント記録は履歴にカウントされません。

※上書き禁止で、タイムラプス/動体検知モード中に「PARK」のフォルダが上限に達した場合、メッセージと音声の後、常時録画の停止(■**STOP**(灰))状態になります。この場合の履歴表示は、**OK** ボタンを押した時に「タイムラプスモード/動体検知モード中にイベント記録が発生しました」とお知らせし数秒表示します。また、上限に達した状態で電源がOFFした場合は、電源ON後、『録画を開始します』の後に「タイムラプスモード/動体検知モード中にイベント記録が発生しました」とお知らせし履歴表示を数秒表示します。

GPS 警報について

本機はGPSターゲットに近づく(1km/500m手前)と画面と音声でお知らせします。GPS警報中はターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。

※GPS警報[OFF]にしている場合、GPS警報しません。(初期値:ON)(🔊 P.62)

※音量[OFF]にしている場合、音声は鳴りません。(🔊 P.62)

※移動式オービスやレーザー光、レーダー波、光電管などによる速度取締は非対応です。

※GPSの受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。また、GPSが測位できないトンネルや屋内、その他周辺環境により作動しない場合があります。

※画面OFF/設定メニュー/再生モード時は音声のみでお知らせします。

■ GPS 警報時



🔊 「1km先/500m先 高速道 ループコイルがあります 制限速度は100キロです」

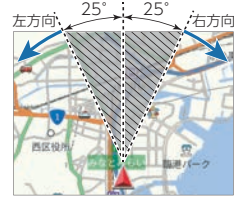
1. GPSターゲット

ターゲット種類	説明	ターゲット種類	説明
 レーダー	車両に向けてレーダー波を放射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。	 Hシステム	車両に向けてレーダー波を放射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。レーダー波を発信する四角いアンテナが車線上に設置されています。
 レーザー	車両に向けてレーザー光を放射し、その反射光で速度を検出します。	 LHシステム	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。測定装置付近にパトランプが設置されています。
 ループコイル	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。	 小型オービス	生活道路などに設置される小型のオービス(自動速度違反取締運転装置)です。

2. 左右方位認識ボイス

GPS 警報はターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約 25° 以上するとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加してその方向をお知らせします。

- ※『右方向』『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線/左車線を示す訳ではありません。
- ※ ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスを行わないことがあります。



<イメージ図>

3. 警報キャンセル

GPS 警報中にいずれかのボタン押すと、GPS 警報表示(画面)はキャンセルされ通常表示に戻ります。

- ※ GPS 警報中にイベント記録が発生した場合もキャンセルされます。
- ※ 音声警報はキャンセルされません。



メンテナンスについて

■ 必要に応じてメンテナンス

・ 付属の電源直結コードのヒューズ交換

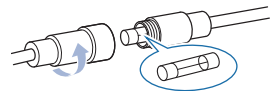
※ 交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ON にならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 電源コードが外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・ 別売品のヒューズ交換

※ マルチバッテリー (OP-MB4000) : 交換用ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)

※ 電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01) : 交換用ヒューズ 3A (30mm × 6.4mm) × 2

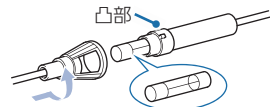
接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ON にならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

<OP-MB4000、OP-VMU01>

ヒューズホルダーの先端を、押しながらか図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながらか図の矢印と逆方向に回す。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説 明
録画画質	高画質	映像の画質を[高画質]で記録します。
音声録音	ON	動画と同時に音声も録音します。
上書き	すべて上書き	SDカード容量の上限に達すると、全ての録画ファイルを上書きします。 (● P.26「上書き設定について」)
記録モード	タイムラプス	駐車記録方式をタイムラプスモードに設定しています。
常時Gセンサー設定	ON	常時録画中にGセンサー記録を行います。 (● P.24「Gセンサー記録」)
駐車Gセンサー設定	ON	駐車記録中(タイムラプス/動体検知)にGセンサー記録を行います。(● P.28)
常時Gセンサー感度	X : 1.0G Y : 1.0G Z : 1.0G	常時録画中のGセンサー感度をX(前後方向)/Y(左右方向)/Z(上下方向)の衝撃感度を[1.0G]に設定しています。
駐車Gセンサー感度	X : 0.5G Y : 0.5G Z : 0.5G	駐車記録中のGセンサー感度をX(前後方向)/Y(左右方向)/Z(上下方向)の衝撃感度を[0.5G]に設定しています。
前方動体検知感度	普通	フロントカメラユニットの動体検知感度を[普通]に設定しています。
後方動体検知感度	普通	リアカメラユニットの動体検知感度を[普通]に設定しています。
リアカメラ表示	鏡像	リアカメラの映像を「鏡像」で表示します。 ※ 記録映像は「正像」で固定になります。
画面の明るさ	普通	画面バックライトの明るさを[普通]に設定しています。
画面自動OFF	10秒後	10秒間無操作で画面OFFします。
音量	普通	本機の音量を[普通]に設定しています。 ※ 音量は操作音、録画開始時の音声、イベント記録開始の音、メッセージの音声、録画ファイルの再生音に反映されます。
GPS警報	ON	GPSターゲットに近づくとお知らせします。

※ 初期値を変更する場合は、 ● P.58 ~ 62「カスタマイズして使う」を参照ください。

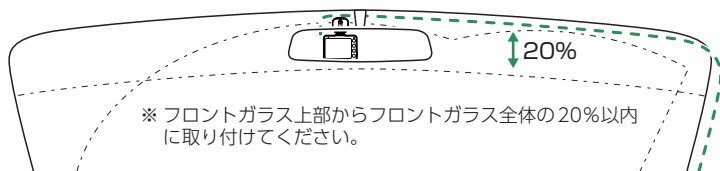
本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■ フロントカメラユニット

- ・フロントガラスの上部 20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



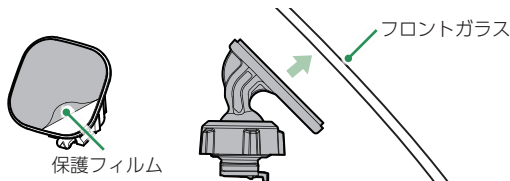
■ リアカメラユニット

- ・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取付けてください。
- ・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
- ・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近に本体の取り付けおよびリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 フロントカメラ用ブラケットから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

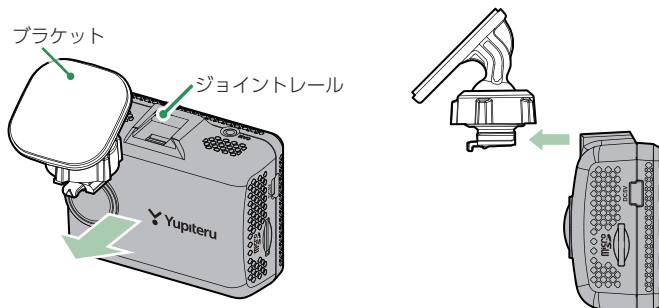


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しをすると両面テープの粘着力が弱まり脱落するおそれがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

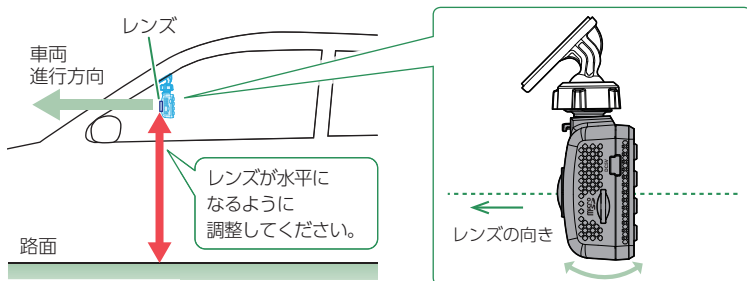
1-2 フロントカメラ用ブラケットを本体のジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせ装着する



『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

1-3

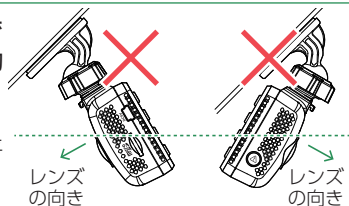
レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



- ※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなるおそれがあります。
- ※奥までスライドさせ、軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

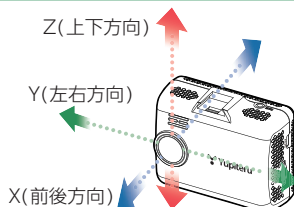
※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。



Gセンサー感度について

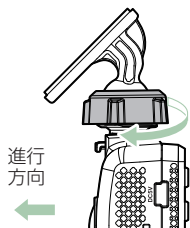
Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。

設定範囲は0.5 G (敏感) ~ 4.0 G (鈍感)の0.1 G単位で設定できます。



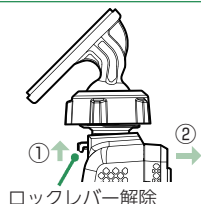
1-4

ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

- ①ロック解除レバーを持ち上げる。
- ②本体を矢印の方向へスライドさせる。



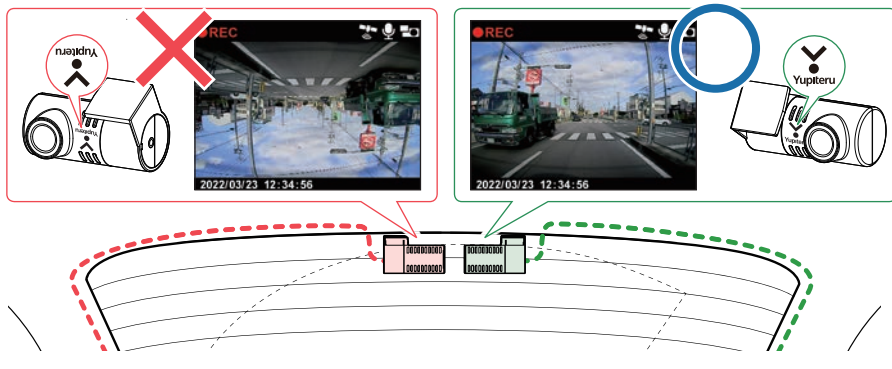
- ※確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。
- ※ナットを締めた後は本体の向きを調整しないでください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。ナットを緩めてから調整してください。
- ※ナットを緩める場合は、本体を回さずにナットを緩めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

2. リアカメラユニットを取り付ける

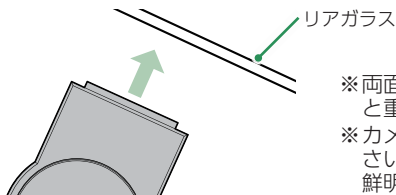
あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

⚠ 注意

- ・リアカメラユニットを接続してなくても、フロントカメラユニットのみで録画することができます。必要に応じてご使用ください。
- ・付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。



2-1 リアカメラ用ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、リアガラスに取り付ける



※両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

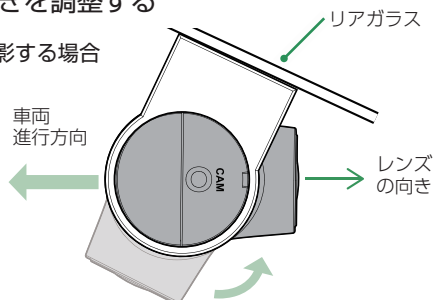
※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなるおそれがあります。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・リアガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しをすると両面テープの粘着力が弱まり脱落するおそれがあります。
- ・固定力を強くするために24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

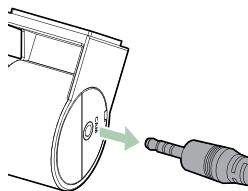
2-2 レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合

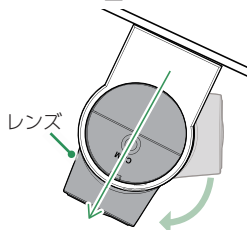


リアカメラユニットの取り外し方法

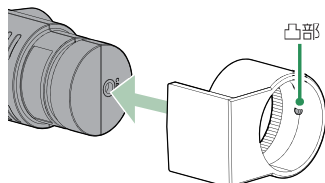
①リアカメラケーブルを取り外す。



②レンズを下図の位置まで回す。



③リアカメラユニットをリアカメラ用ブラケットから引き抜く。



※ リアカメラ用ブラケットには凸部があり、無理に引き抜こうとすると破損の原因となります。必ず②の位置まで回してから取り外してください。

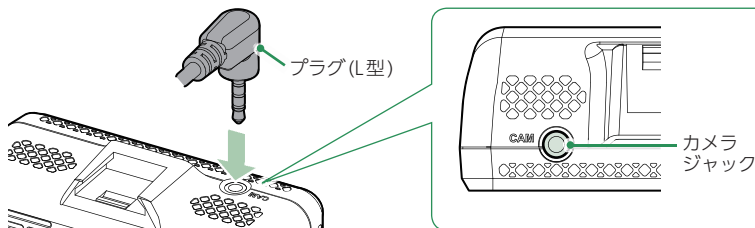
3. リアカメラケーブルを接続する

付属のリアカメラケーブルを接続することで、リアカメラの映像も記録できます。

※リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかり挿し込んでください。プラグをしっかりと挿し込まないと、リアカメラの映像を記録できない場合があります。

※プラグに無理な力を加えないでください。カメラジャック破損の原因となります。

3-1 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する

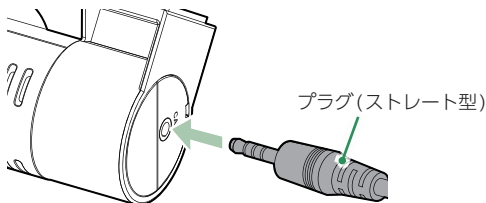


付属のリアカメラケーブルのプラグをフロントカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

※フロントカメラユニットにはプラグ (L型) をご使用ください。プラグ (ストレート型) を使用した場合、ケーブル接続時に負荷がかかり断線の恐れがあります。

3-2 リアカメラケーブルをリアガラスまで配線する

3-3 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルのプラグをリアカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-4 市販品の結束バンドなどを使い、リアカメラケーブルを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光のあたる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

4. 電源を接続する

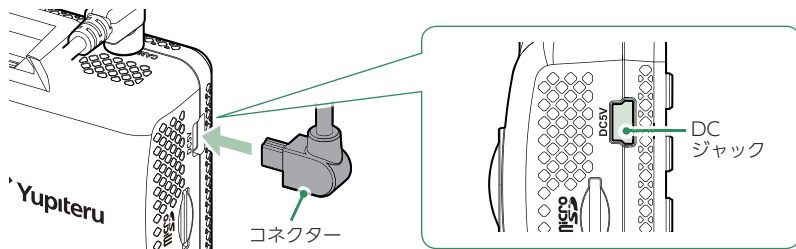
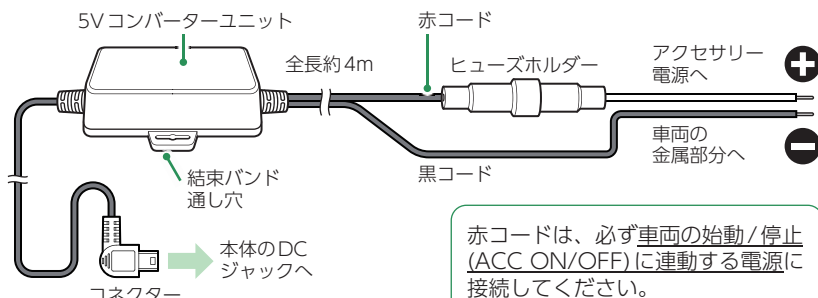
付属の電源直結コードを接続します。

※別売品で接続する場合は、「別売品の取り付け(P.45)」を参照ください。

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

4-1 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックと車両へ接続します。

※ 付属の電源直結コードをご使用ください。

※ 電源はDC12V (マイナスアース) 車専用です。24V車ではご使用いただけません。

※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

市販品の結束バンドや両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光のあたる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

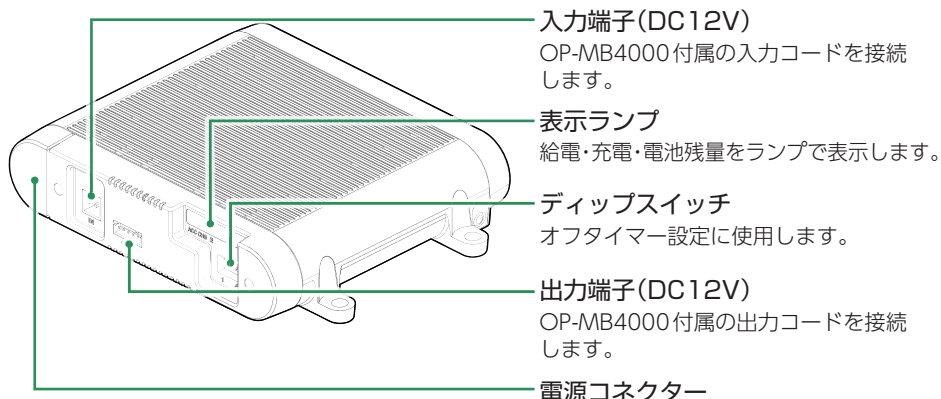
別売品の取り付け

1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

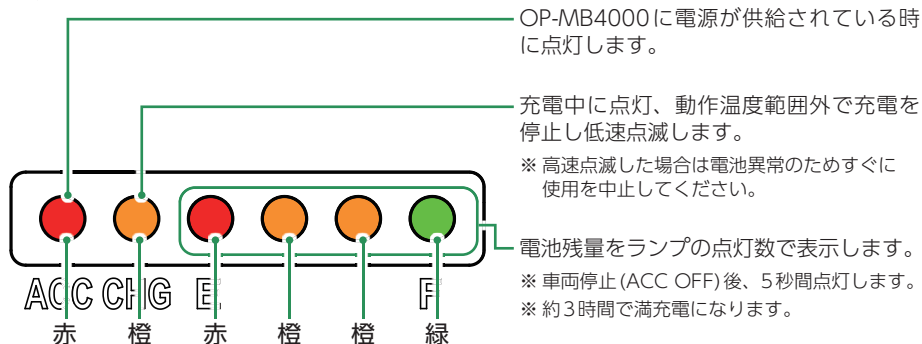
⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※ 電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。

■ OP-MB4000



■ 表示ランプについて

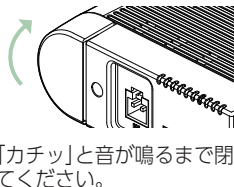
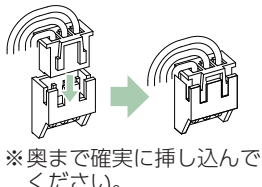
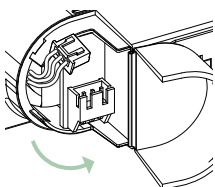


■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

- ① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード ③ OP-MB4000 付属出力コード
④ 電源直結コード (ドライブレコーダー付属) ⑤ 市販品接続端子 (ギボシ端子など)

1-1 電源コネクタを接続する

- ① カバーを開ける ② 電源コネクタを接続する ③ カバーを閉じる



1-2 オフタイマー設定をする

車両停止 (ACC OFF) 後、OP-MB4000 の内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定 (オフタイマー設定) します。

お買い上げ時 (工場出荷時) のままでは、使用できません。車両停止 (ACC OFF) 時にディップスイッチの操作を行ってください。車両始動 (ACC ON) した際に設定が反映されます。

※ディップスイッチの ON/OFF は、先の細いつまようじなどで行ってください。

■ オフタイマー設定

ディップスイッチ

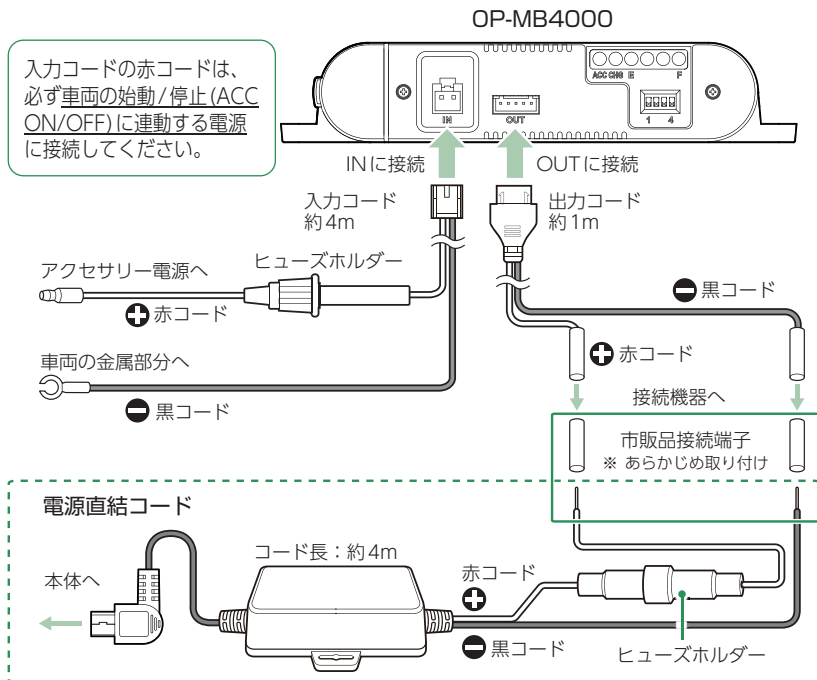
初期値：1~4 OFF

1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
使用しない (0 時間)	0.5 時間	1 時間	2 時間
1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
3 時間	4 時間	6 時間	12 時間

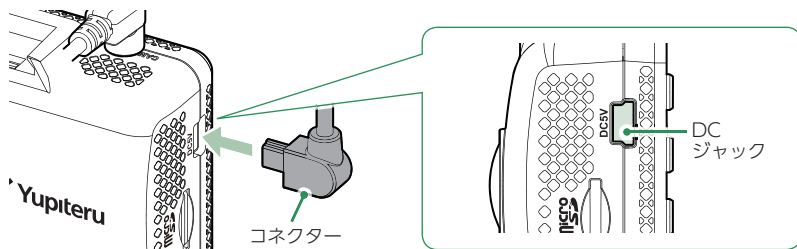
⚠ 注意

- ・オフタイマー設定に関係なく、使用状況 (使用機種 / 接続状態 / 充電状態 / 設置環境等) により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000 の内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。
- ・オフタイマー設定を [使用しない (0 時間)] に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000 の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

1-3 OP-MB4000 を車両に接続する



1-4 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品の結束バンドなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。

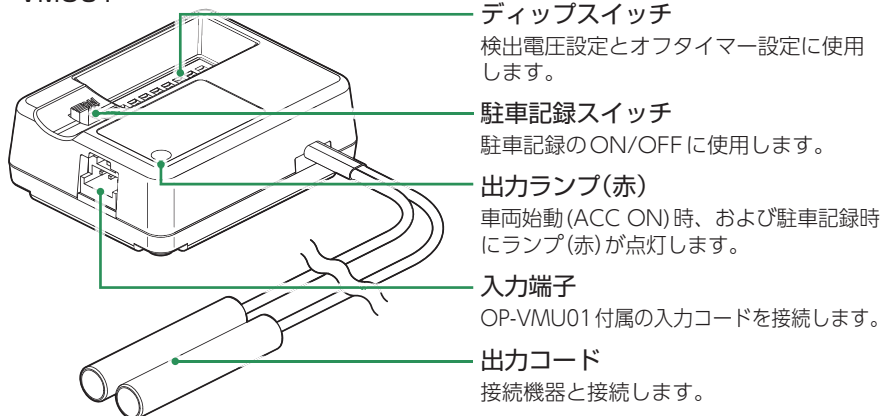
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・2日以上使用しない場合は、駐車記録スイッチをOFFにしてください。車両バッテリー上がりの原因となります。
※ 駐車記録スイッチをOFFにした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。
- ・車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

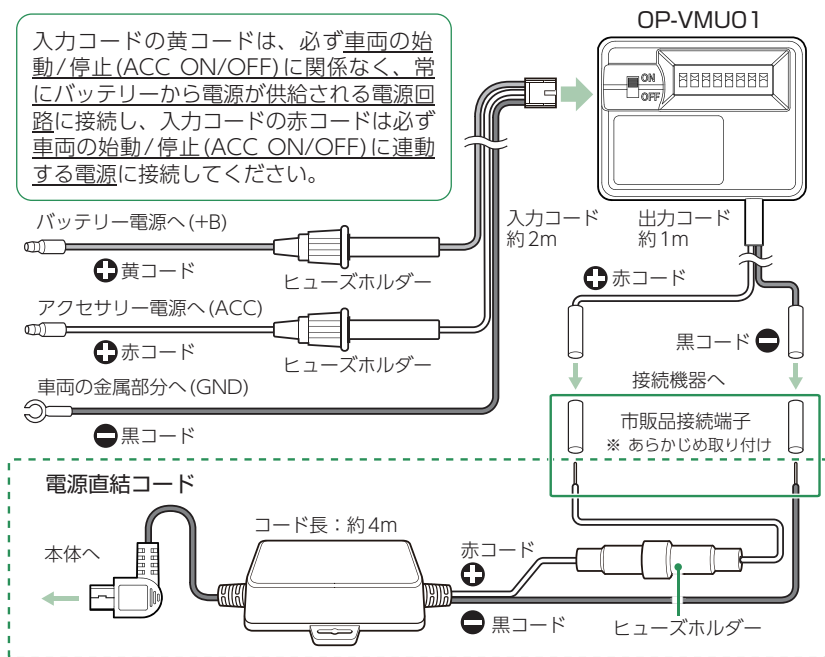
■ OP-VMU01



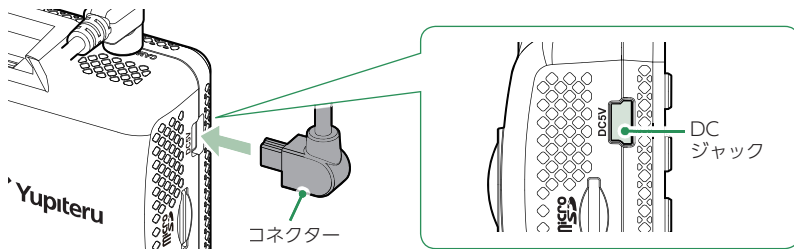
■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

- ① OP-VMU01 ② OP-VMU01 付属入力コード
③ 電源直結コード (ドライブレコーダー付属) ④ 市販品接続端子 (ギボシ端子など)

2-1 OP-VMU01 を接続する



2-2 電源直結コードを接続する



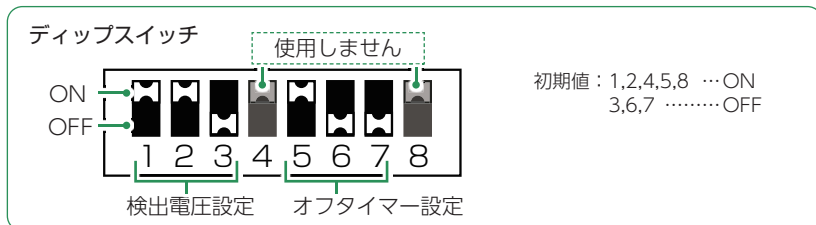
付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

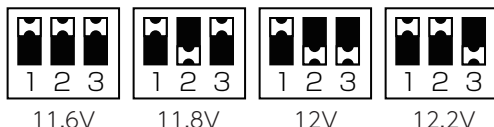
2-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

車両停止 (ACC OFF) 後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、車両停止 (ACC OFF) 後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

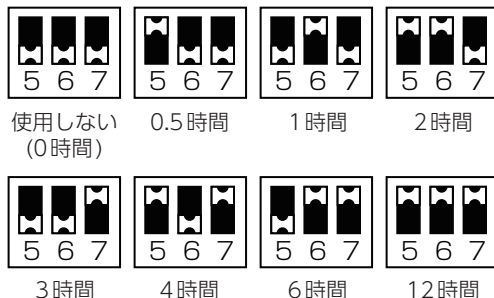
※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。



■ 検出電圧設定 (1～3使用) 12V車



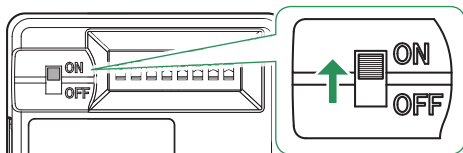
■ オフタイマー設定 (5～7使用)



⚠ 注意

- ・ディップスイッチの[4][8]は使用しません。初期値 (ON) のまま変更しないでください。
- ・オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーからの電源供給を停止します。
- ・オフタイマー設定を「使用しない (0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-4 電源スイッチをONにする



2-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

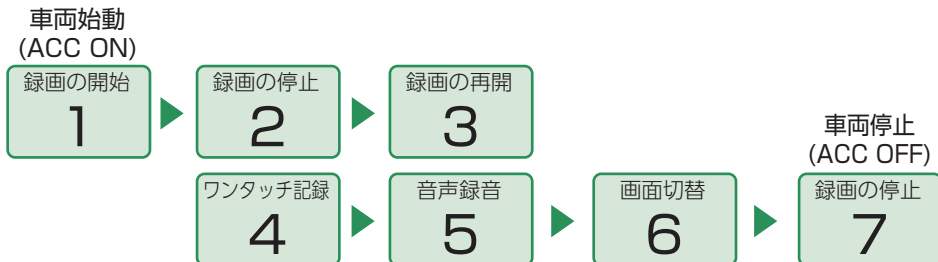
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・ 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光の当たる場所。
- ・ 不安定な場所。
- ・ 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・ 車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・ 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

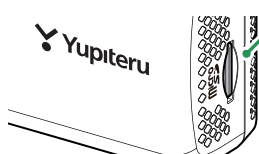


※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON (録画を開始する)

本機は、車両の始動 (ACC ON) に連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



SDカード

・SDカードが挿入されていないときは…

電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。

▶ P.20「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両を始動 (ACC ON) する



・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤点灯	常時録画中
赤遅点滅	イベント記録中
赤早点滅	SDカード未挿入時
赤変則点滅	タイムラプスモード / 動体検知モード中
緑点灯	録画以外の動作
消灯	電源 OFF

録画を開始します。

電源ランプ (赤) が点灯、記録マーク●REC (赤) を表示します。

GPSを測位すると アイコンを表示し、GPS情報を取得します。

※GPS情報を取得すると、自動的に日時を調整します。

※GPSの測位に失敗すると、 アイコンを表示します。

・録画開始までの時間について

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・SDカードチェック機能について

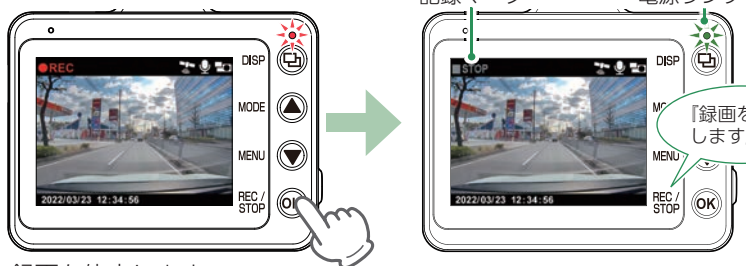
SDカードの破損や不具合を見つけたらお知らせします。(P.77)

・GPS測位について

購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. 録画を停止する

2-1 録画中に (OK) ボタンを押す



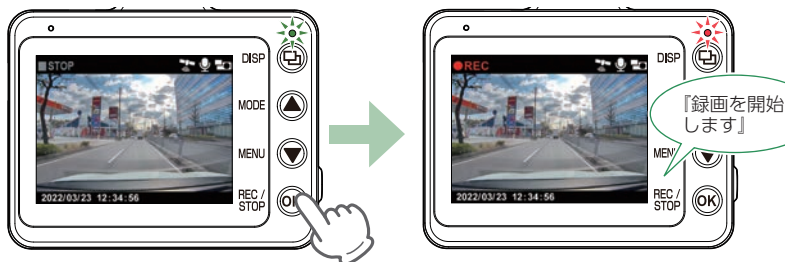
録画を停止します。

電源ランプ(緑)が点灯、記録マーク■STOP(灰)を表示します。

すべてに使う

3. 録画を再開する

3-1 録画停止中に (OK) ボタンを押す



録画を再開します。

設定メニューの場合は P.58、動画再生モードの場合は P.66 を参照ください。

4. ワンタッチ記録をする

本機は、常時録画中にⒶボタンを押すと、ワンタッチ記録ファイルを生成します。

4-1 常時録画中にⒶボタンを押す



電源ランプ(赤)が遅点滅、記録マーク**MREC**を表示します。

※ワンタッチ記録ファイル生成後は、自動で常時録画へ戻ります。

5. 音声録音をON/OFFする

録画中に▼ボタンを押すことで音声録音のON/OFFを変更することができます。

※設定メニューからも変更できます。(P.60)

5-1 録画中に▼ボタンを押す



▼ボタンを押すたびに、音声録音ON/OFFが切り替わります。

6. 画面表示を切り替える

Ⓜ ボタンを押すたびに画面表示を切り替えることができます。

※リアカメラユニットの映像は正像/鏡像で切り替えることができます。(👉 P.62)

※記録映像は「正像」で固定になります。

6-1 動画記録モードでⓂ ボタンを押す



<フロントカメラ表示>



<リアカメラ表示>



<画面 OFF>



<フロント+リアカメラ表示>

リアカメラ

Ⓜ ボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。

すぐに使う

7. 電源 OFF(録画を停止する)

本機は、車両の停止(ACC OFF)に連動して録画を停止します。

7-1 車両を停止(ACC OFF)する

録画が停止し、電源 OFF になります。

別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付電源ユニット接続時は 👉 P.56 を参照ください。

別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

■ A：長時間の駐車の場合(タイムラプスモード/動体検知モードを使用する)

A-1 車両を停止(ACC OFF)する



・駐車記録とは…

車両停止(OFF)状態で別売品により
駐車中に記録を行うこと。

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)の設定によっては電源OFFします。

A-2 (OK) ボタンを3秒以上長押しする



タイムラプスモード(● P.28)

動体検知モード(● P.31)

タイムラプスモードまたは動体検知モードで録画を開始します。

A-3 車両を始動(ACC ON)する

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)からの電源供給が継続している場合、録画をタイムラプスモードまたは動体検知モードで継続して行います。

(OK) ボタンを3秒以上長押ししてタイムラプスモードまたは動体検知モードを終了してください。

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)からの電源供給が停止している場合、通常の録画を開始します。

■ B：短時間の駐車の場合(タイムラプスモード/動体検知モードを使用しない)

B-1 車両を停止(ACC OFF)する



・駐車記録とは…

車両停止(ACC OFF)状態で別売品により駐車中に記録を行うこと。

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)の設定によっては電源OFFします。

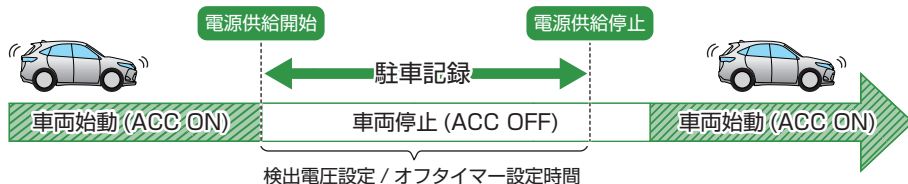
B-2 車両を始動(ACC ON)する

別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)からの電源供給が継続している場合、録画を継続して行います。

※別売品(OP-MB4000/OP-VMU01)からの電源供給が停止している場合、録画を開始します。

すくに使っ

■ 駐車記録時の動作



検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(P.46、50)

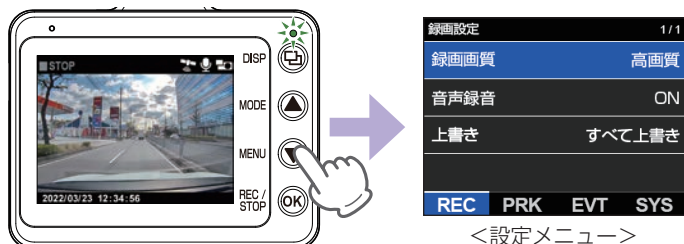
※マルチバッテリー(OP-MB4000)はオフタイマー設定のみになります。

※強制的に駐車記録を停止する場合は、フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外してください。(P.13)

設定メニューの表示方法

1. 設定メニューを表示する

1-1 録画停止中に (▼) ボタンを押す



設定メニューを表示します。

録画中の場合は (OK) ボタンを押して録画を停止してください。

※ (▲) ボタンを押すたびに [録画設定 (REC)] ⇒ [駐車記録設定 (PRK)] ⇒ [イベント感度設定 (EVT)] ⇒ [システム設定 (SYS)] に変更できます。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 設定メニューで (▲) ボタンを押す



録画を開始します。

設定メニュー

■ 設定メニュー時のボタンの機能

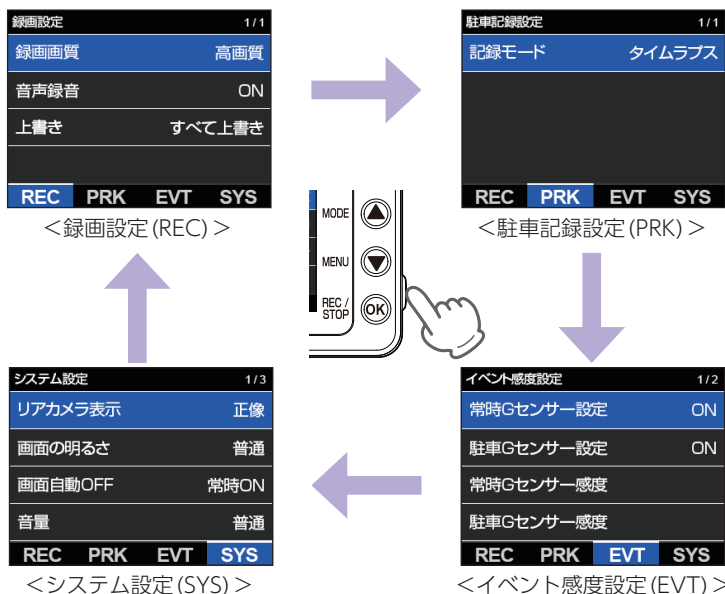
ボタン	機 能	
⏮️ボタン	短押し	前の画面へ戻ります。＊ ¹
⬆️ボタン	短押し	項目や設定値を選択したり、値を増加します。
⬇️ボタン	短押し	項目や設定値を選択したり、値を減少します。
Ⓞ️ボタン	短押し	項目や設定値を決定します。
⏮️➡️ボタン	短押し	設定項目を切り替えます。＊ ²

＊¹：日時設定の場合、前の項目を選択します。(日⇒月⇒年)

前の画面に戻る場合は、[確定]または[キャンセル]を選択し、Ⓞ️ボタンを押してください。

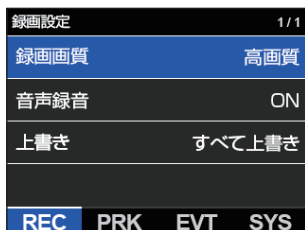
＊²：日時設定の場合、次の項目を選択します。(年⇒月⇒日)

設定メニュー画面で⏮️➡️ボタンを押すと設定項目を切り替えることができます。



1. 録画設定

※設定メニューの表示方法は ➡ P.58 を参照ください。

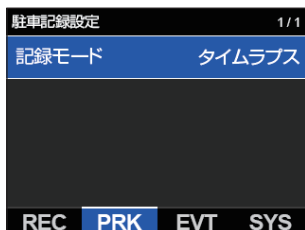


★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
録画画質	低画質 / 普通画質 / 高画質 (★)	画質を選択します。 ※ 録画画質を下げると記録時間が長くなります。 ※ 変更する場合、フォーマットが必要になります。
音声録音	OFF/ON (★)	動画と同時に音声を録音するかON/OFFで設定します。 ※ 動画記録モードでも変更できます。(➡ P.54)
上書き	上書き禁止 / 常時・駐車上書き / すべて上書き (★)	詳細は ➡ P.26 を参照ください。

2. 駐車記録設定

※設定メニューの表示方法は ➡ P.58 を参照ください。



★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
記録モード	動体検知 / タイムラプス (★)	駐車記録の方法を選択します。 ※ タイムラプスの詳細は ➡ P.28、動体検知の詳細は ➡ P.31 を参照ください。

3. イベント感度設定

※設定メニューの表示方法は P.58 を参照ください。

イベント感度設定	1/2
常時Gセンサー設定	ON
駐車Gセンサー設定	ON
常時Gセンサー感度	
駐車Gセンサー感度	
REC PRK EVT SYS	

イベント感度設定	2/2
前方動体検知感度	普通
後方動体検知感度	普通
REC PRK EVT SYS	

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
常時Gセンサー設定	OFF/ON(★)	常時録画中にGセンサー記録を行うかON/OFFで設定します。
駐車Gセンサー設定	OFF/ON(★)	駐車記録中(タイムラプス/動体検知)にGセンサー記録を行うかON/OFFで設定します。
常時Gセンサー感度	X:0.5 ~ 4.0G(1.0G★) Y:0.5 ~ 4.0G(1.0G★) Z:0.5 ~ 4.0G(1.0G★)	X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
駐車Gセンサー感度	X:0.3 ~ 4.0G(0.5G★) Y:0.3 ~ 4.0G(0.5G★) Z:0.3 ~ 4.0G(0.5G★)	
前方動体検知感度	OFF/低い/普通(★) /高い	フロントカメラの動体検知感度を選択します。 ※ [OFF]にした場合、フロントカメラで動体検知は行いません。
後方動体検知感度	OFF/低い/普通(★) /高い	リアカメラの動体検知感度を選択します。 ※ [OFF]にした場合、リアカメラで動体検知は行いません。

4. システム設定

※設定メニューの表示方法は  P.58 を参照ください。

システム設定 1/3	
リアカメラ表示	正像
画面の明るさ	普通
画面自動OFF	常時ON
音量	普通
REC PRK EVT SYS	

システム設定 2/3	
日時設定	
バージョン情報	
設定初期化	
SDカードフォーマット	
REC PRK EVT SYS	

システム設定 3/3	
GPS警報	ON
REC PRK EVT SYS	

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
リアカメラ表示	鏡像(★)/正像	リアカメラで表示する映像を選択します。 ※ 記録映像は「正像」で固定になります。
画面の明るさ	暗い/普通(★)/明るい	画面バックライトの明るさを選択します。
画面自動OFF	常時ON/10秒後(★)/30秒後/1分後/時計画面	動画記録モード時に無操作で画面を自動的にOFFにする時間を選択します。また、時計画面にもできます。 ※ 時計画面への移行時間は1分後で固定です。 ※ 画面を表示させる場合は、いずれかのボタンを押してください。
音量	OFF/小さい/普通(★)/大きい	本機の音量を選択します。 ※ 音量は操作音、録画開始時の音声、イベント記録開始の音、メッセージの音声、録画ファイルの再生音に反映されます。
日時設定	—	日付や時刻を設定します。 ※ 手動で設定した場合でもGPSの日時情報が優先され、変更されます。
バージョン情報	—	ファームウェアのバージョンを表示します。
設定初期化	実行/キャンセル	本機をご購入時の設定に戻します。
SDカードフォーマット	実行/キャンセル	SDカードをフォーマットします。( P.63) ※ 録画ファイルは全て削除されます。
GPS警報	OFF/ON(★)	GPS警報を行うかON/OFFで設定します。( P.34)

SDカードフォーマット

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが削除されます。必要に応じてパソコンなどにバックアップしてからフォーマットしてください。

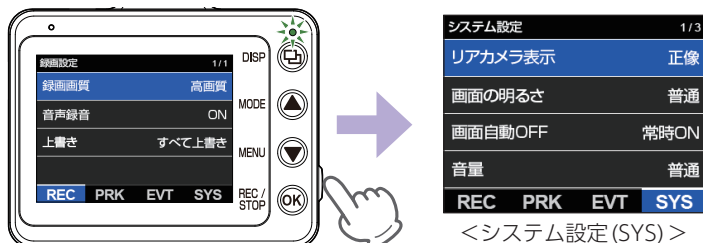
※ⓐボタンでフォーマットする方法は ● P.14[SDカードをフォーマットする]を参照ください。

※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

1. SDカードをフォーマットする

1-1 設定メニューを表示する(● P.58)

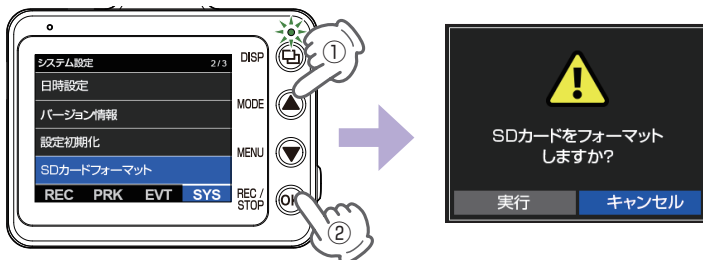
1-2 ⓐ ボタンを数回押して[システム設定(SYS)]を表示する



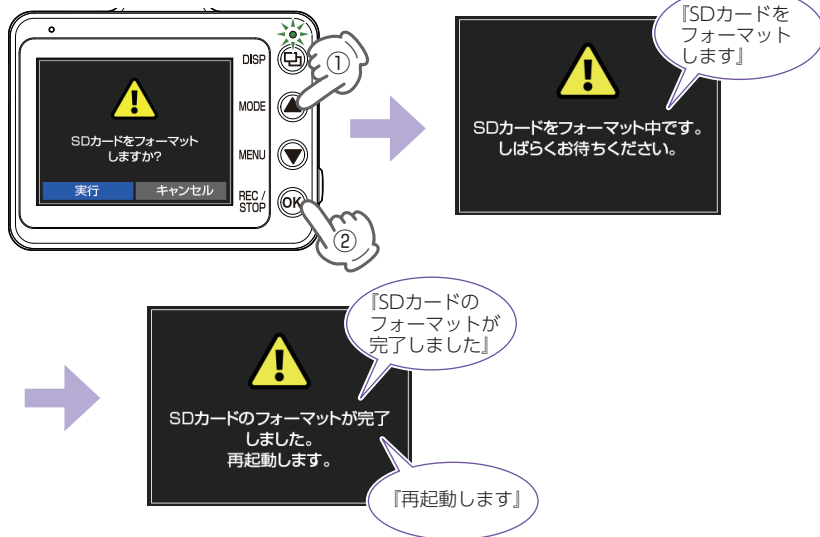
設定メニューを表示します。

※ⓐボタンを押すたびに[録画設定(REC)] ⇒ [駐車記録設定(PRK)] ⇒ [イベント感度設定(EVT)] ⇒ [システム設定(SYS)]に変更できます。

1-3 [SDカードフォーマット]を選択し、ⓑ ボタンを押す



1-4 [実行]を選択し、(OK) ボタンを押す

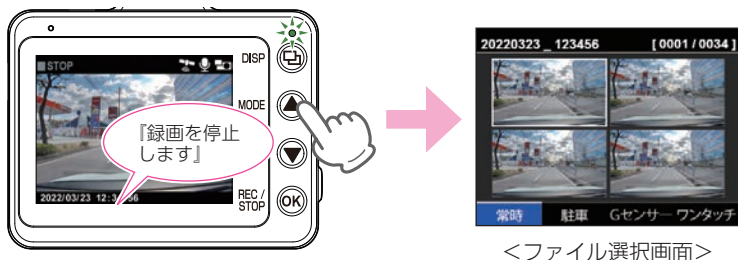


フォーマットが完了後、自動で再起動します。

再生モードの表示・再生方法

1. 再生モードを表示する

1-1 動画記録モードで▲ボタンを押す

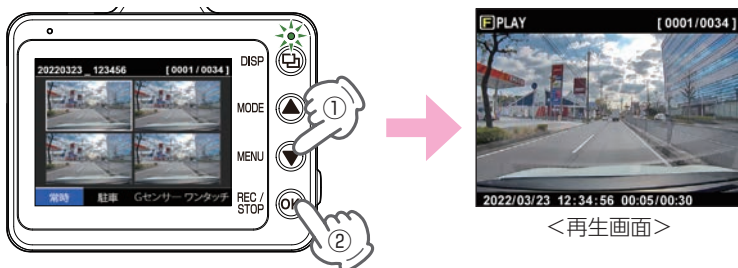


録画を停止し、再生モードのファイル選択画面を表示します。

※ ▲ボタンを押すたびに[常時] ⇒ [駐車] ⇒ [Gセンサー] ⇒ [ワンタッチ]のフォルダに変更できます。

2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 ファイルを選択し、OKボタンを押す



録画ファイルを再生します。

再生時のボタン機能は ● P.68 を参照ください。

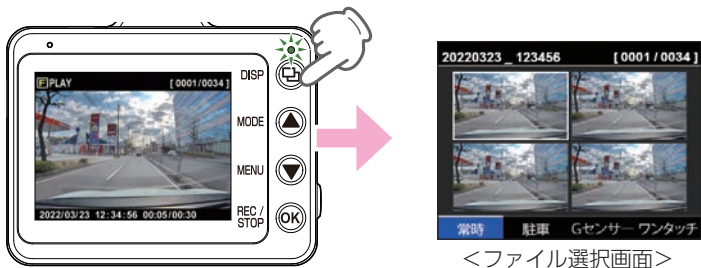
※ 記録方法によって動画の1ファイル単位の構成は異なります。(● P.81「録画ファイル構成」)

※ 1ファイルの再生が終了すると次のファイルを再生します。

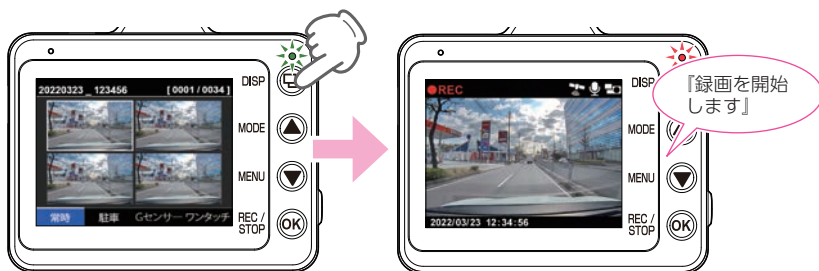
3. 録画を再開する

再生後は、下記の手順で録画を再開します。

3-1 再生画面で ボタンを押す



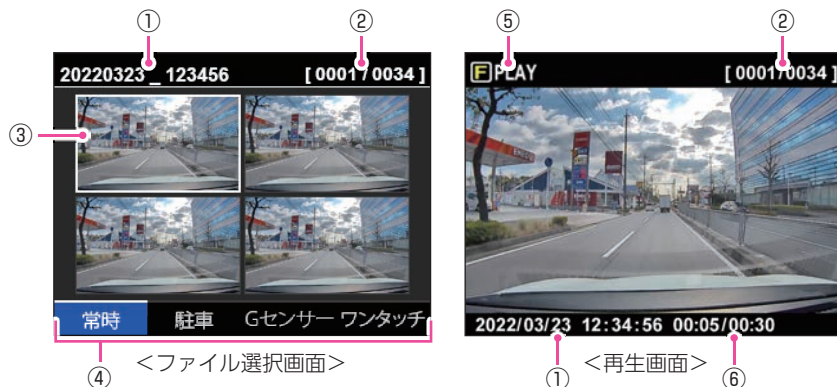
3-2 ボタンを押す



録画を開始します。

再生モード

※再生モードの表示方法は P.65 を参照ください。



※ 再生して数秒経つと、上下のバー表示が消えて全画面表示になります。

No.	表示名	説明
①	記録日時	選択中ファイルの記録日時を表示します。 20220323 _ 123456 記録日(年月日) 記録時間(時分秒)
②	ファイル数	現在のファイル/総ファイル数を表示します。
③	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを白色枠で表示します。
④	フォルダ種類	選択中のフォルダを青背景で表示します。
⑤	動作アイコン	再生中に表示します。 F: フロントカメラ、Rリアカメラ
		一時停止中に表示します。 F: フロントカメラ、Rリアカメラ
⑥	再生時間	現在の再生時間/ファイル総時間を表示します。

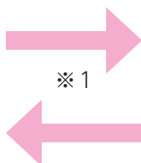
■ 動画再生モード時のボタンの機能

ボタン	動作	機 能
⏮ ボタン	ファイル選択時	短押し 常時録画を開始します。
	ファイル再生時	短押し ファイル選択画面を表示します。
⏪ ボタン	ファイル選択時	短押し 前のファイルを選択します。
	ファイル再生時	短押し 前のファイルを再生します。
		長押し 10秒戻ります。(スキップ)
⏩ ボタン	ファイル選択時	短押し 次のファイルを選択します。
	ファイル再生時	短押し 次のファイルを再生します。
		長押し 10秒進みます。(スキップ)
⏹ ボタン	ファイル選択時	短押し 再生します。
	ファイル再生時	短押し 再生/一時停止します。
⏸ ボタン	ファイル選択	短押し フォルダを切り替えます。
		長押し 3秒以上長押しで録画ファイルを削除する画面を表示します。(P.69)
	ファイル再生時	短押し 映像を切り替えます。

再生画面で ⏸ ボタンを押すと映像を切り替えることができます。



<フロントカメラ表示>



<リアカメラ表示>

※1：一時停止中に切り替えた場合、一時停止は解除されます。

録画ファイルの削除

※フロントカメラの録画ファイルを削除した場合、もう一方の対になるリアカメラの録画ファイルも一緒に削除されます。あらかじめご了承ください。

※SDカード内の録画ファイルをすべて削除する場合は、SDカードフォーマットを行ってください。(P.14、63)

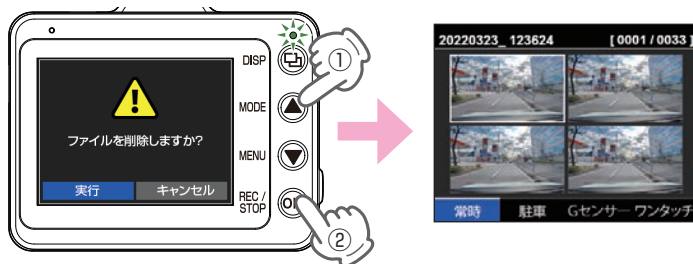
1. 録画ファイルを削除する

1-1 再生モードを表示する (P.65)

1-2 削除したい録画ファイルを選択し、⚠️ ボタンを3秒以上長押しする



1-3 [実行]を選択し、OK ボタンを押す



録画ファイルを削除し、ファイル選択画面を表示します。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer TypeP」をインストールすることにより、Google Maps と連動させて表示することができます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。(https://www.yupiteru.co.jp/download/update/dry_type_p.html)

下記の使用を満たしたパソコンで再生できます。

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i5、3.0GHz以上
RAM	8GB 以上

(2022年4月現在)

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。

※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時作動等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。

※Windows のアップデートやGoogle マップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 デスクトップにある[PCViewer TypeP]アイコンをクリックする

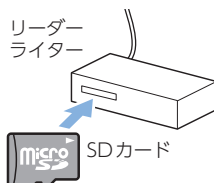
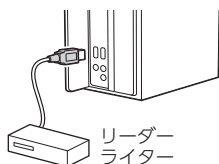


- ・専用ビューアソフトの詳細は…
➡ P.72「専用ビューアソフト」

専用ビューアソフトが起動します。

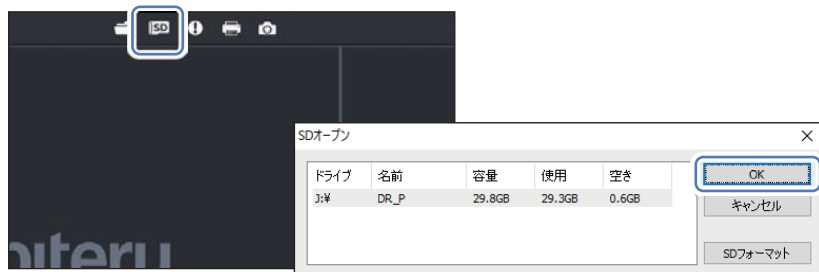
3. 録画ファイルを再生する

3-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



3-2

 をクリックし、[OK]をクリックする



※[SDフォーマット]をクリックすると、フォーマットできます。

3-3

再生したい録画ファイルをダブルクリックする

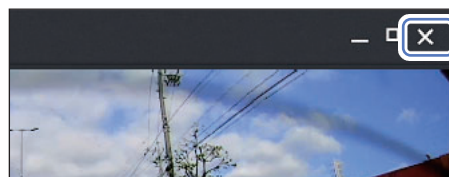


録画ファイルを再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1

専用ビューアソフト右上の  をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

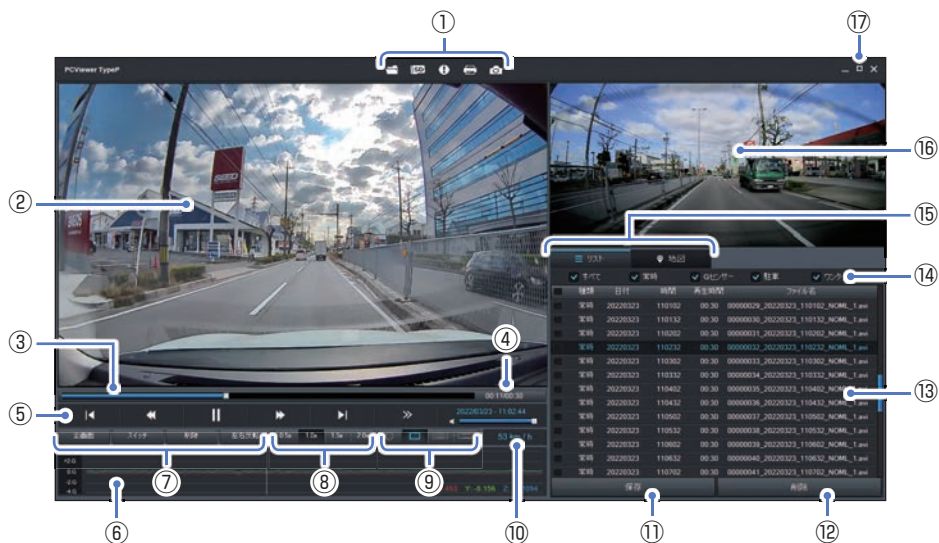
専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

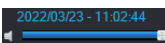
※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について

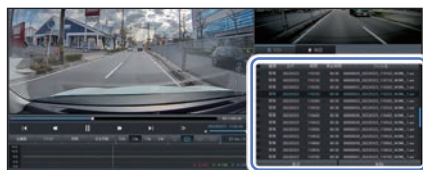


<全画面表示>

No	表示名	説 明		
①	ツールメニュー		フォルダを開く	再生リストにフォルダ単位で録画ファイルを読み込みます。
			SDカードを展開	再生リストにSDカード単位で録画ファイルを読み込みます。
			情報を表示	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。
			印刷	再生中／一時停止中の映像を印刷します。
			画面キャプチャ	再生中／一時停止中の映像から静止画(JPEG)に変換して保存します。
②	フロントカメラ映像	フロントカメラの映像を表示します。		
③	タイムライン	クリック位置から再生できます。		
④	再生時間	現在の再生時間／ファイル総時間を表示します。		
⑤	ファイルコントロール		前のファイルを再生	前のファイルを再生します。
			1 秒前	1 秒前に戻ります。
			再生／一時停止	再生／一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
			1 秒後	1 秒後に進めます。
			次のファイルを再生	次のファイルを再生します。
			次コマ	クリック毎に1フレーム後の映像を表示します。
			記録日時／音量バー	記録日時を表示します。 左右操作で音量を調整できます。
⑥	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。		
⑦	画面操作	全画面	全画面で表示します。	
		スイッチ	フロントとリアカメラの映像を切り替えます。	
		削除	再生中／一時停止中の録画ファイルを削除します。	
		左右反転	リアカメラの映像を左右反転します。	
⑧	再生速度調整	0.5x	クリックした速度で再生します。	
		1.0x		
		1.5x		
		2.0x		
⑨	表示切替	本機では使用しません。		
⑩	走行速度	GPS で記録した走行速度を表示します。		
⑪	保存	チェックを入れた録画ファイルを保存します。(AVI)		

No	表示名	説 明		
⑫	削除	チェックを入れた録画ファイルを削除します。		
⑬	再生リスト	録画ファイルの種類/日付/時間/再生時間/ファイル名を表示します。		
⑭	ファイル選択	チェックを入れると指定したファイルだけ表示できます。		
⑮ ※1	リスト	クリックすると再生リスト表示します。		
	地図	クリックすると地図を表示します。 読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Google Maps)は表示されません。		
⑯	リアカメラ映像	リアカメラの映像を表示します。		
⑰	プログラム		最小化	ウィンドウを最小化します。
			最大化/元に戻す	ウィンドウを最大化/元に戻します。
			閉じる	ソフトウェアを終了します。

※1：リスト/地図表示



<リスト>

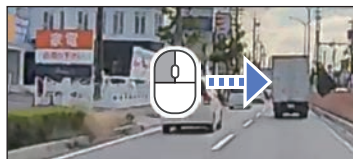


<地図>

2. 表示エリアの操作について

■ 移動

マウスの左ボタンをドラッグで表示させたい部分まで移動します。



■ 拡大/縮小

マウスのホイールボタンを前後に回転させ画面を拡大/縮小します。



<拡大>

<縮小>

録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生・表示することができます。

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i5、3.0GHz以上
RAM	8GB 以上

(2022年4月現在)

※CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時作動等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は記録した順に本機で自動設定されます。

例: 00000001 _ 20220323 _ 123456 _ NOML 1 . avi — 動画

ファイル番号 記録日(年月日) 記録時間(時分秒) ファイル種類^{※1} カメラ種類
1: フロント
2: リア

※1: NOML: 常時録画、EVGS: Gセンサー記録、EVSW: ワンタッチ記録、PAKT: タイムラプス、PAKM: 動体検知

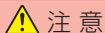
■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード

- NOML
 - 00000001_20220323_123456_NOML_1.avi
 - 00000001_20220323_123456_NOML_2.avi
- EVGS
 - 00000002_20220323_123524_EVGS_1.avi
 - 00000002_20220323_123524_EVGS_2.avi
- EVSW
 - 00000004_20220323_123554_EVSW_1.avi
 - 00000004_20220323_123554_EVSW_2.avi
- PAKM
 - 00000005_20220323_123626_PAKT_1.avi
 - 00000005_20220323_123626_PAKT_2.avi

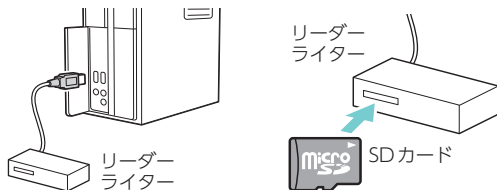
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する



注意

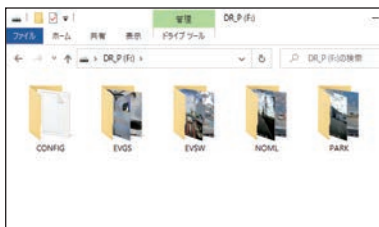
パソコンではファイル再生やバックアップ以外の操作をしないでください。SDカード内のデータの書き換え/消去などを行った場合、本機が正常に動作しないことがあります。

1-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

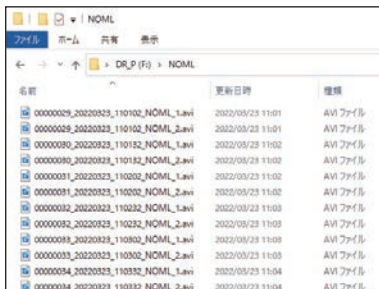
1-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について

常時録画 …………… 「NOML」フォルダ
Gセンサー記録 …… 「EVGS」フォルダ
ワンタッチ記録 …… 「EVSW」フォルダ
駐車記録
(タイムラプス/動体検知) … 「PARK」フォルダ

1-3 録画ファイルをダブルクリックする



Windows 標準の「映画＆テレビ」で再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音声でお知らせします。

※音量[OFF]にしている場合、音声/音によるお知らせはしません。

※メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

メッセージ



SDカードが挿入されていません。



SDカード容量が不足しているため
録画できません。
フォルダーを確認してください。



SDカードをフォーマット
できませんでした。



対応していないSDカードです。
SDカードを交換してください。



SDカードエラー

対処方法

- ☐ SDカードを挿入、または再挿入してください。
SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

Yupiteru



切り欠き部が上



※ SDカードの向きに注意して挿入
してください。

- ☐ ファイル容量がSDカード容量の上限に達しています。
録画ファイルを削除し、SDカードの空き容量を増やすと
お使いいただけます。
また、メッセージが頻繁に表示される場合は下記をご確認ください。
- ・録画設定の録画画質を下げる。(P.59)
 - ・上書き設定を変更する。(P.59)
 - ・容量が大きいSDカードで本機を使用する。

※メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

- ☐ 本機に対応したSDカードかご確認ください。

記録媒体：microSDHC/microSDXC カード
容量：16~128GB
スピードクラス：Class10以上

- ☐ SDカードをフォーマットしてください。
(P.14、63)

- ☐ フォーマット後も頻繁にメッセージが表示される場合は、
新しいSDカードに交換してください。

※メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

- ☐ 本機に対応したSDカードかご確認ください。

記録媒体：microSDHC/microSDXC カード
容量：16~128GB
スピードクラス：Class10以上

※メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

- ☐ SDカードをフォーマットしてください。
(P.14、63)

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- ☐ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。(● P.35)

電源はONになるが本体が起動しない/画面が表示されない

- ☐ リセットボタンを押して再起動してください。(● P.17)
- ☐ SDカードを取り外して起動してください。
起動する場合はSDカードが原因となっている可能性があります。本機に対応したSDカードかご確認ください。(● P.83)
- ☐ 画面自動OFFの設定をご確認ください。(● P.62)
- ☐ 本体内部が高温になっていませんか。
本体温度が高温になると液晶パネル保護のため液晶パネルが自動的に画面OFFになります
が録画は継続して行われます。動作温度範囲まで温度が下がると自動的に画面ONします。

車両停止(ACC OFF)しても本体電源がOFFにならない

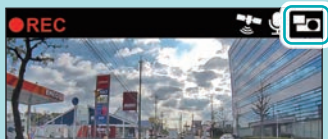
- ☐ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニットを接続していませんか。
設定によっては車両停止(ACC OFF)後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。(● P.13)

正常に動作しない

- ☐ パソコンでSDカード内のデータを書き換えたり消去していませんか。
パソコンでSDカード内のデータの書き換え/消去などを行った場合、本機が正常に動作しないことがあります。その際は、本機でSDカードをフォーマットしてください。(● P.14、63)

リアカメラの映像が映らない

- ☐ リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかりと挿し込んでいますか。
リアカメラユニットが接続されているかアイコンで確認してください。



: リアカメラユニット接続時



: リアカメラユニット非接続時

モニター画面に斑点や輝点がある

- ☐ 液晶パネルの現象です、故障ではありません。
有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。

イベント記録ファイルが生成されない

- ☐ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。(➡ P.24)

録画ファイルがない

- ☐ 本機でフロントカメラまたはリアカメラの録画ファイルを削除していませんか。
本機でどちらかの録画ファイルを削除した場合、もう一方の対になる録画ファイルも一緒に削除されます。あらかじめご了承ください。
- ☐ 上書きされていませんか。
初期値では上書き設定「すべて上書き」のため上限に達すると上書きされます。(➡ P.26)
- ☐ 各専用フォルダを確認してください。(➡ P.23、75)
- ☐ TMP(拡張子)ファイルがありませんか。
TMP ファイルは、最後ファイルが正常に終了しなかった場合に作成されます。そのファイルがあるSDカードを挿入して電源ONしてください。その際にTMP ファイルは録画ファイル(avi)に生成されます。

映像が記録できない

- ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(➡ P.20)
SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

GPS 警報しない

- ☐ GPS 警報の設定は[ON]になっていますか。(➡ P.62)
- ☐ トンネル内オービスは非対応です。
- ☐ GPSは測位していますか。
GPSアイコンで受信状態をご確認ください。



: 測位時

: 非測位時

- ☐ 新たに設置されたオービスではありませんか。
収録されているオービスデータは、製品製造時のデータとなります。また、本製品に関するオービスデータ更新は予定しておりません。

一般道を走行中に高速道のGPSターゲットを警報する

- ☐ 本機に一般道/高速道を識別する機能はありません。そのため両方のGPSターゲットを警報します。

専用ビューソフト / 映画&テレビで再生できない

- ☐ 本機に対応したパソコンか下記仕様をご確認ください。

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i5、3.0GHz以上
RAM	8GB 以上

(2022年4月現在)

専用ビューソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

- ☐ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- ☐ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- ☐ タイムラプスモード/動体検知モードで録画していませんか。
タイムラプスモード/動体検知モードで録画した場合、GPSデータを記録しないため、地図(Google Maps)は表示されません。

駐車記録しない

<マルチバッテリー(OP-MB4000)>

- ☐ 電源コネクターは接続されていますか。(☛ P.46)
- ☐ オフタイマー設定が「使用しない」、またはディップスイッチ4がOFFになっていませんか。(☛ P.46)
- 上記の設定では車両停止(ACC OFF)後の本機への電源供給が行われません。

<電圧監視機能付き 電源ユニット(OP-VMU01)>

- ☐ 駐車記録スイッチはONになっていますか。(☛ P.51)
- ☐ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。(☛ P.50)
- オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両停止(ACC OFF)後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ 車両停止(ACC OFF)時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(☛ P.50)

仕様

外形寸法 (突起部除く)	【フロント】 65(幅) × 53(高さ) × 28(奥行)mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時 86(高さ)mm (窓ガラス 25° 想定の場合) 【リア】 54(幅) × 25(直径)mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時 36(高さ)mm (窓ガラス 25° 想定の場合)	
本体重量	【フロント】 約 95g (microSD カード含む) 【リア】 約 26g	
記録媒体	microSD カード [*] (32GB 付属) 16GB ~ 128GB (Class10 以上)	
撮像素子	200 万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載 ^{※2})	
最大記録画角 ^{※1}	【フロント】 対角 162° (138° (水平)、78° (垂直)) 【リア】 対角 155° (128° (水平)、63° (垂直))	
記録解像度	最大 200 万画素	1080P (1920×1080)
F 値	【フロント】 2.2 【リア】 2.0	
GPS	有	
G センサー	有 (感度設定可能)	
HDR	有 (フロント/リア)	
最低被写体照度	0.5LUX (ルクス)	
記録方式	常時録画/イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>)/ 駐車記録 (タイムラプス、動体検知) ^{※3}	
録画ファイル構成	常時録画: 30 秒単位、3 分 20 秒単位 ^{※4} イベント記録 (G センサー記録・ワンタッチ記録)、動体検知: 40 秒単位	
画面サイズ	【フロント】 2.0 インチ フルカラー TFT 液晶	
音声録音	ON / OFF 可能	
フレームレート	29.1 コマ/秒、1 コマ/秒 ^{※4}	
映像ファイル形式	avi	
記録映像 再生方法 ^{※5}	・専用ビューアソフト「PC Viewer TypeP」(弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・Windows 標準の「映画 & テレビ」	
電源電圧	DC12V マイナスアース車専用 (5V 入力)	
消費電力	7.5W	
動作温度範囲	- 10℃ ~ + 60℃	
製品保証期間	1 年 (消耗品は除く)	

※ 上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※ 1 : 超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※ 2 : STARVIS (スタービズ) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。

※ 3 : 駐車記録には別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000)、または電圧監視機能付電源ユニット (OP-VMU01) が必要です。

※ 4 : タイムラプスモード中のみ。

※ 5 : Microsoft Windows 11、10 に対応。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大6A)
出力電圧	出力端子B：12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃～+45℃
外形寸法	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm(突起部除く)
本体重量	約950g (内蔵電池含む)

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V (入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	－10℃～+60℃
外形寸法	46(幅)×36(高さ)×16(奥行)mm(突起部除く)
本体重量	約34g

- ・STARVISは、ソニーグループ株式会社の商標です。
- ・「Windows®」、「Microsoft®Windows®」は、Microsoft Corporation の、商標または登録商標です。
- ・「microSD™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
- ・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSD カード対応一覧表

- ※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
- ※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
フォーマットをしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。
- ※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ※容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

記録媒体	microSDHC/microSDXCカード
容量	16～128GB
SDスピードクラス	Class10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

■ 常時録画

SDカード容量	高画質(初期値)	普通画質	低画質
16GB	約64分	約75分	約91分
32GB(付属)	約128分	約150分	約182分
64GB	約256分	約300分	約364分
128GB	約512分	約600分	約728分

■ タイムラプスモード

SDカード容量	高画質(初期値)	普通画質	低画質
16GB	約93分	約110分	約133分
32GB(付属)	約186分	約220分	約266分
64GB	約372分	約440分	約532分
128GB	約744分	約880分	約1,064分

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

SDカード容量	高画質(初期値)		普通画質		低画質	
	Gセンサー	ワンタッチ	Gセンサー	ワンタッチ	Gセンサー	ワンタッチ
16GB	38件	28件	44件	33件	53件	40件
32GB(付属)	76件	56件	88件	66件	106件	80件
64GB	152件	112件	176件	132件	212件	160件
128GB	304件	224件	352件	264件	424件	320件

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※生成するファイル数による件数の変更はありません。

3. 動体検知の最大記録件数

SDカード容量	高画質(初期値)	普通画質	低画質
16GB	28件	33件	40件
32GB(付属)	56件	66件	80件
64GB	112件	132件	160件
128GB	224件	264件	320件

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※生成するファイル数による件数の変更はありません。

索引

A

ACアダプター 19

D

DCジャック 16

DISP ボタン 17, 22, 59, 68

E

EVENT ボタン 22, 59, 68

F

F 値 81

G

GPS 53, 80, 81

GPS 警報 34

G センサー 81

G センサー感度 25

G センサー記録 24

H

HDR 81

Hシステム 34

L

LHシステム 34

M

MENU ボタン 17, 22, 59, 68

MODE ボタン 17, 22, 59, 68

O

OP-E368 19

OP-MB4000 19, 35, 45, 82

OP-SD32M 19

OP-SD64M 19

OP-VMU01 19, 35, 48, 82

R

REC/STOP ボタン 17, 22, 59, 68

S

SDカード 12, 18, 19, 20, 83

SDスピードクラス 83

あ

アフターサービス 裏表紙

い

イベント感度設定 61

イベント記録 23, 24

う

上書き禁止 26

え

映像ファイル形式 81

お

お客様ご相談センター 裏表紙

音声録音 54, 81

か

外形寸法 81

画面サイズ 81

き

記録解像度 81

記録媒体 81, 83

記録方式 81

記録ボタン 17

け

警報キャンセル 35

こ

小型オービス 34

さ

再生方法 81

最大記録画角 81

撮像素子 81

左右方位認識ボイス 35

し

システム設定 62

常時録画 23, 24

消費電力 81

シリアルナンバー 16

す

スピーカー 16

せ

製品保証期間 81

設定メニュー 59

専用ビューアソフト 70, 72

索引

た

タイムラプスモード 28

ち

駐車記録設定 60

て

電圧監視機能付 電源ユニット... 19, 35, 48, 82

電源直結コード 18, 35, 43

電源電圧 81

電源ランプ 16, 52

と

動画記録モード 21

動作温度範囲 81

動体検知モード 31

は

バックアップ機能 13

ふ

ファイル消去 69

ファイル名 75

フォーマット 14, 63

フォルダ構造 75

付属品・別売品の購入 19

フレームレート 81

ほ

本体重量 81

ま

マイク 16

マルチバッテリー 19, 35, 45, 82

め

メンテナンス 35

よ

容量 83

り

リセットボタン 16, 17

る

ループコイル 34

れ

レーザー 34

レーザー 34

レンズ 16, 17

ろ

録画時間 83

録画設定 60

録画ファイル構成 81

わ

ワンタッチ記録 25, 54